



Touch Notation

[※必ずお読みください](#)

[画面各部の名称と基本操作](#)

[簡単な使い方](#)

[新しい楽譜を作る](#)

[手書きで記号を入力する](#)

[手書き入力できる記号の一覧 \(動画\)](#)

[発想標語を入力する](#)

[発想標語の初期プリセット一覧](#)

[コードネームを入力する \(アプリ内課金\)](#)

[装飾音符を入力する](#)

[ドラム譜を入力する](#)

[記号を移動する](#)

[記号を削除する](#)

[楽譜を演奏する](#)

[記号をスペーシングする](#)

[楽譜を移調する](#)

[高度な楽譜編集](#)

[楽譜の設定](#)

[メモの入力と編集](#)

[楽譜を保存する・開く](#)

[楽譜を他のアプリで利用する](#)

[楽譜を印刷する](#)

[アプリの設定](#)



[データのバックアップ](#)


[アプリ内課金で機能を追加する](#)

[FAQ](#)

必ずお読みください

はじめてご使用になる場合は、「[簡単な使い方](#)」をご覧ください。

また、画面の右上には   ボタンが用意されています。使い方がわからない場合や詳しい機能を知りたい場合は、このボタンをタップして表示されるヘルプをお読みください。

最新のサポート情報は、左上にある  ボタンで確認することができます。
(Safariを起動してサポートページを開きます。)

ご使用にあたり、以下の点にご注意ください。

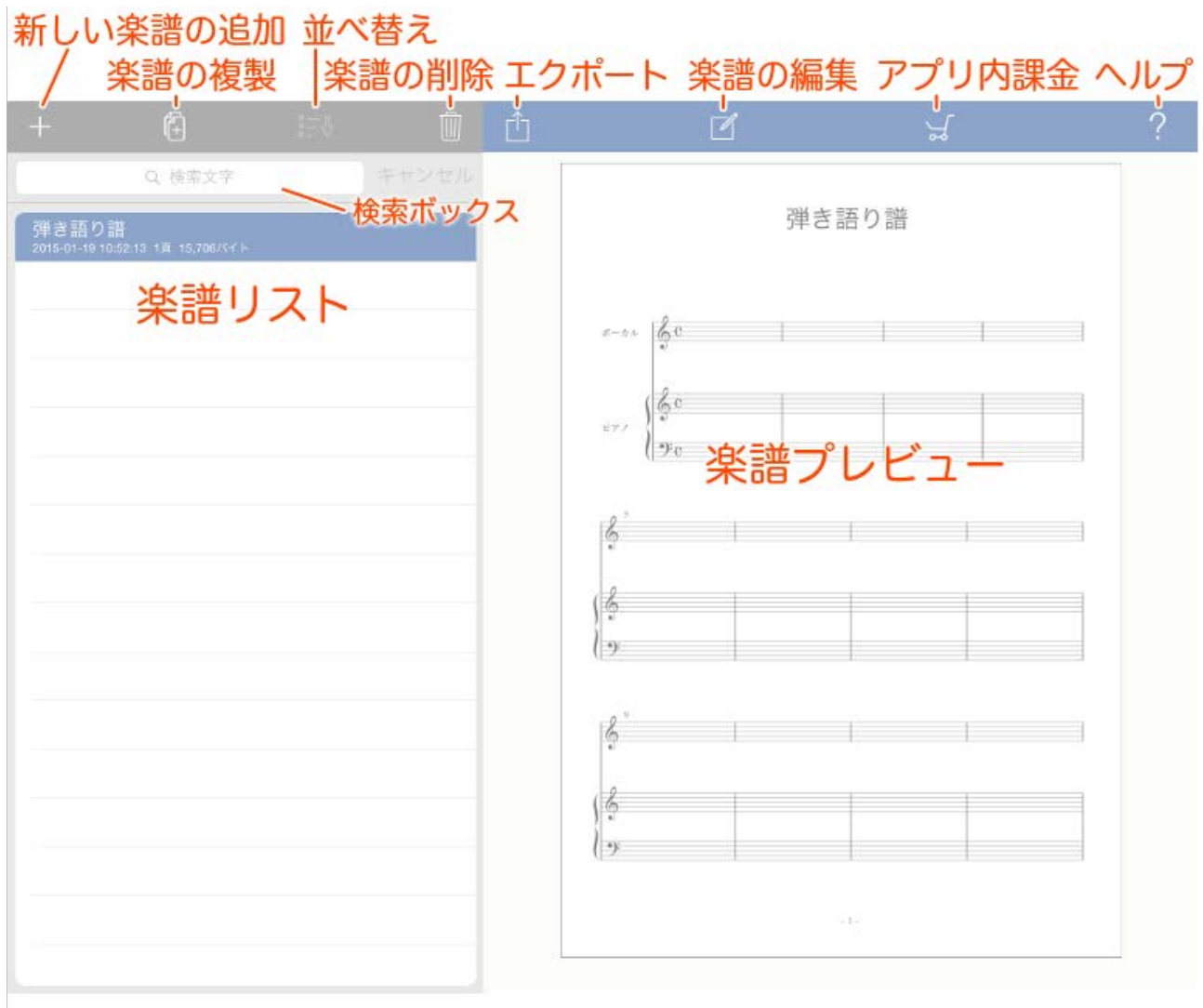
- 「[手書き入力できる記号の一覧 \(動画\)](#)」に手書きで入力できる音楽記号の一覧とその入力方法が記載されています。はじめてご使用になる場合は、こちらをご覧くださいになり、記号の入力の仕方を覚えてからお使いください。
- 「**タッチノーション**」を削除すると作成した楽譜や登録した発想標語などもすべて削除されます。削除する前に、「[データのバックアップ](#)」をご覧くださいになり、データのバックアップを行ってください。

画面各部の名称と基本操作


ライブラリ画面

ライブラリ画面は、楽譜の管理を行う画面です。[新しい楽譜を作ったり](#)、[作成済みの楽譜を開いたり](#)することができます。

[印刷](#)や[楽譜のエクスポート](#)も、この画面から行います。



画面左の「楽譜リスト」には、作成済みの楽譜の一覧が、右の「楽譜プレビュー」には楽譜リストで現在選択されている楽譜のプレビューが表示されます。楽譜プレビューは左右にスワイプすることでページを切り替えることができます。

 ボタンをタップすると、表示されている楽譜を編集することができます。



iPhone/iPod touchでデバイスを縦向きにしているときは、ライブラリ画面の「楽譜リスト」と「楽譜プレビュー」は上下に配置されます。

楽譜編集画面

楽譜編集画面は、楽譜の編集を行う画面です。



サークルコントローラー一覧

	音符入力モード	手書きで音符などの 音楽記号を入力する モードに切り替えます。 発想標語 や コードネーム もこのモードで入力します。
	メモ入力モード	メモを入力する モードに切り替えます。
		小節内の音符・休符、その他の記号をバ

	スペーシング	ランスよく配置 (スペーシング) します。
	プロパティ	楽譜の設定 、 記号のプロパティ 、 パートのプロパティ を呼び出します。
	トランスポーズ	楽譜を 移調 します。
	アンドゥ	直前の楽譜編集操作を取り消します。
	リドゥ	アンドゥを取り消し、編集後の状態を再現します。
	スタート	ソングポイント  の位置から 演奏を開始 します。
	ストップ	演奏を停止 します。
	リワインド	ソングポイントを 曲の先頭 に戻します。
	プレイコントロールバー	マスターコントロールバー と パートコントロールバー の表示／非表示を切り替えます。
	ページ	左右にスワイプしてページを切り替えます。また、タップして ナビゲーションビュー を表示します。
	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
	ライブラリ	ライブラリ画面 に切り替えます。
	アプリの設定	アプリの設定 を行います。
	リストガード	リストガード を表示します。

サークルコントロールの操作方法

サークルコントロールは、ボタンをスワイプすることでコマンドを切り替えることができます。

例えば、ヘルプサークルの場合、「ヘルプ」が表示されている状態でサークルを下方向にスワイプすると「ライブラリ」に切り替えることができます。

小さく見えている他のコマンドアイコンを引っ張り出すようにスワイプします。各コマンドのアイコンは必ず同じ位置に格納されますので、各コマンドの方向を覚えてしまえば、素早くコマンドを呼び出すことができるようになります。



サークルコントロールのカスタマイズ

[アプリの設定](#)で「サークルコントロール」の「カスタマイズを許可する」がオンに設定されている場合、サークルコントロールをロングタップ（長押し）することで、レイアウト編集モードに入ることができます。レイアウト編集モードの間、サークルコントロールは上下に揺れて表示されます。

レイアウト編集モードの間、サークルコントロールはピンチイン・ピンチアウトで大きさを変えることができます。また、ドラッグして位置を変えることもできます。

レイアウト編集モードを抜けるには、再度サークルコントロールをロングタップ（長押し）します。

レイアウト編集の結果は、デバイスの向きごとに保存されます。[アプリの設定](#)から初期状態に戻すこともできます。

その他、サークルの配色を変えることもできます。詳しくは、[アプリの設](#)

定をご覧ください。



ダブルタップによる拡大・縮小

楽譜編集画面は、ダブルタップすることで楽譜の手書き入力に適した倍率と全体表示とを切り替えることができます。（デバイスが縦向きときは全体表示、横向きときは幅に合わせて表示）

もちろん、ピンチイン・ピンチアウトで好きな倍率に拡大・縮小することもできます。



ダブルタップした箇所を中心に、
拡大表示します。



全体表示に戻すには、楽譜の
好きな箇所をダブルタップします。

※デバイスが横向きになっているときは、
全幅表示（幅が画面に収まるように表示）
となります。

楽譜のスクロール

1本指でのスワイプ操作は、手書きでの記号入力やメモ入力となってしまいますので、タッチノータッチでは2本指でのスワイプ操作で楽譜をスクロールさせます。ただし、1本指でも、以下のフリックスクロールという操作方法があります。


フリックスクロール

ダブルタップによる拡大で1小節が大きく表示されているとき、前後の小節にジャンプしたいことがあります。このときは、画面をすばやく1本指で左右にスワイプ（フリック）します。段落やページをまたがる移動もできますので、大変便利です。



楽譜の横幅が画面に収まっている場合は、同じように左右にフリックするとページの切り替えとなります。


ナビゲーションビューとページ切り替え

 ボタンをタップすると、ナビゲーションビューが表示されます。



ナビゲーションビューには、常に現在のページの楽譜が全体表示されます。編集画面の領域は、明るく表示されています。ナビゲーションビュー内部をドラッグすることで、編集画面のスクロールをすることもできます。また、ナビゲーションビューをダブルタップすることで編集画面の楽譜を拡大・縮小することもできます。ナビゲーションビューの内部でピンチイン・ピンチアウトすることで、表示範囲を拡大・縮小することもできます。

ナビゲーションビューの枠をドラッグすることで、ナビゲーションビュー自体を動かすこともできます。

楽譜のページの移動は、 ボタンを左右にスワイプすることで行います。



ナビゲーションビューの大きさは3段階で変更することができます。

参考：[アプリの設定](#)

楽譜編集の基本

2つのモード

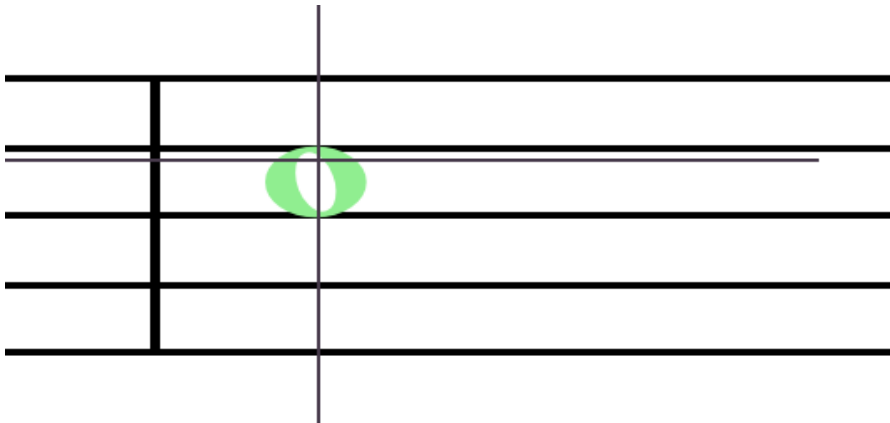
楽譜編集画面には2つのモードがあります。音楽記号、発想標語、コードネームが入力・編集できる「音符入力モード」と、演奏には反映しないメモが入力・編集できる「メモ入力モード」です。入力方法については、それぞれのリンク先を参照してください。

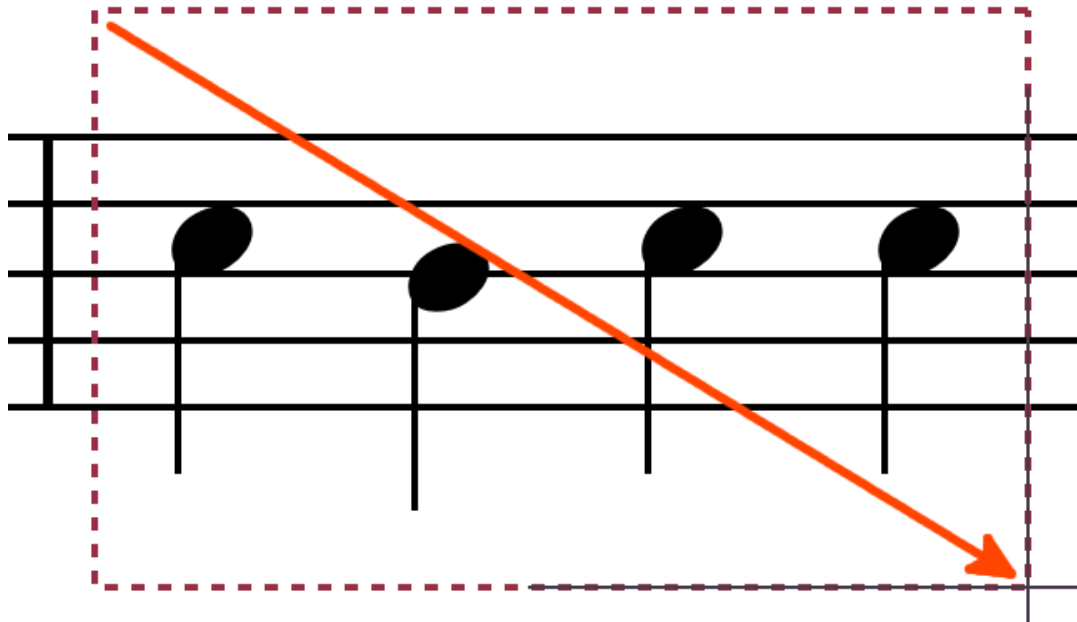
	音符入力モード	手書きで音符などの 音楽記号を入力する モードに切り替えます。 発想標語 や コードネーム もこのモードで入力します。
	メモ入力モード	メモを入力する モードに切り替えます。

記号・メモの選択

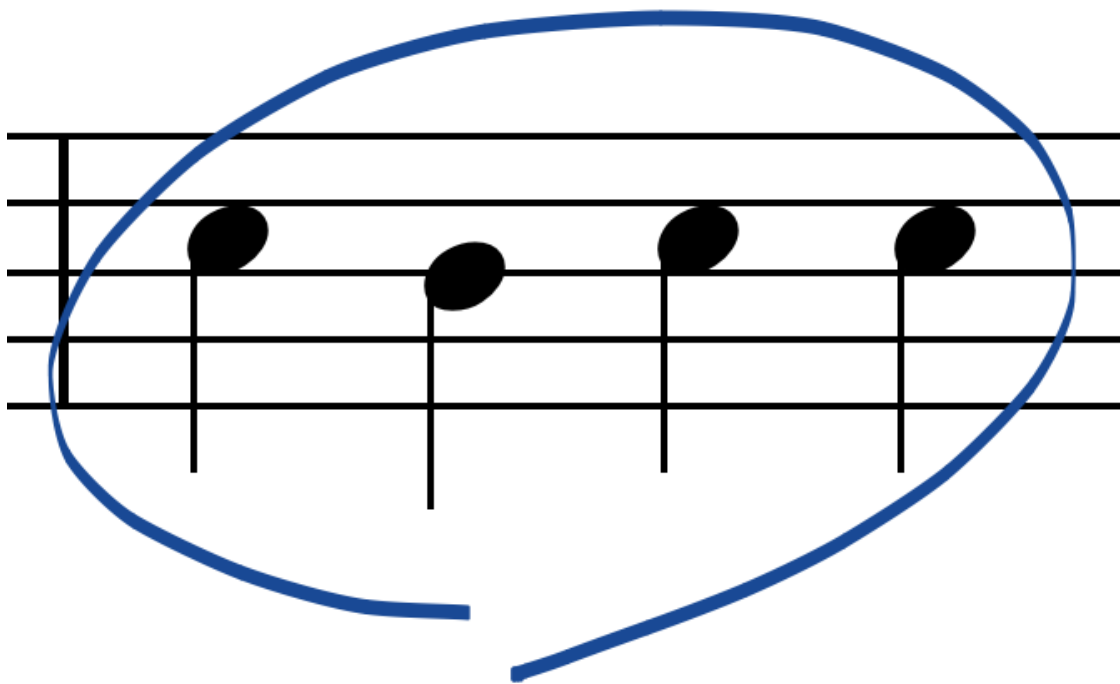
音符入力モードでは、音楽記号（手書きの音楽記号とキーボードから入れた発想標語、コードネーム）が選択できます。

選択は、直接記号をロングタップ（長押し）して選択する方法、記号以外の場所をロングタップしてからドラッグして範囲選択する方法があります。





音符入力モードでは、記号を囲むストロークを入力することで選択することもできます。



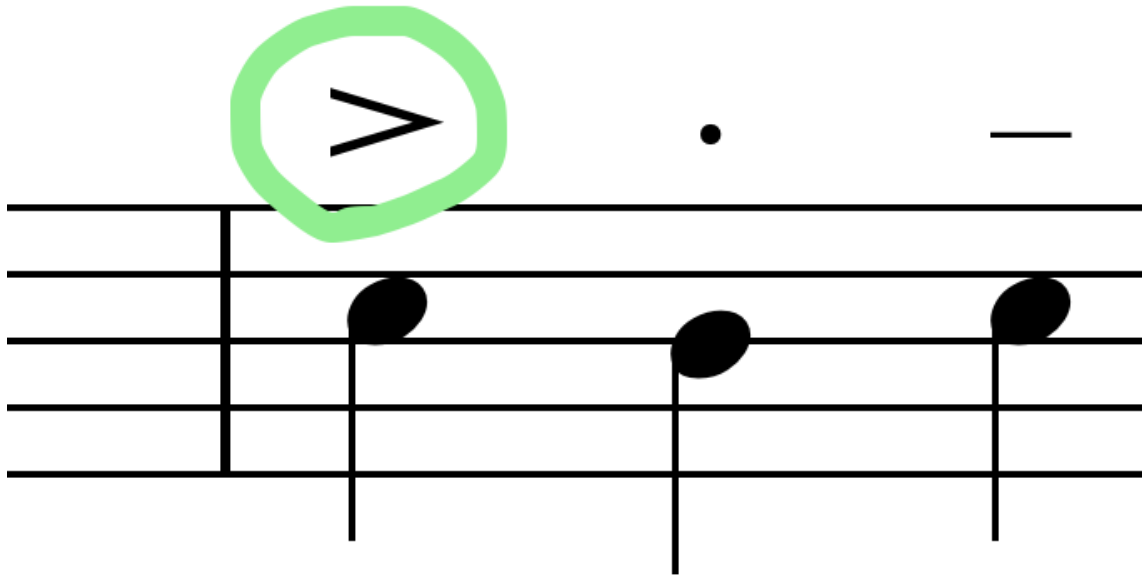
メモは、メモ入力モードで選択できます。

音楽記号同様、直接メモをロングタップ（長押し）して選択する方法、メモ以外の場所をロングタップしてからドラッグして範囲選択する方法があります。

切り取り

コピー

削除

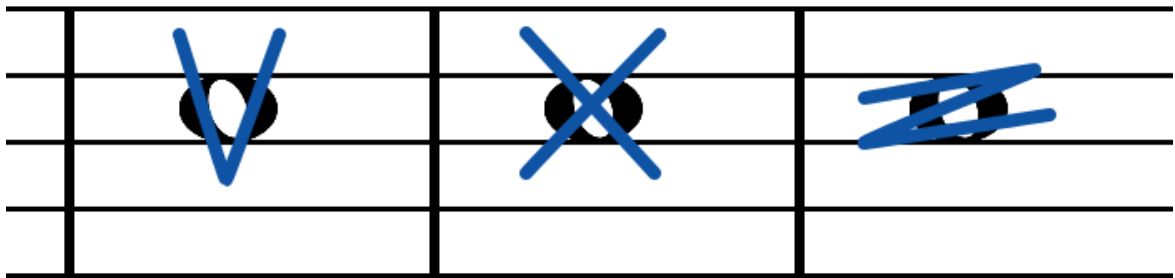


記号やメモを選択すると、編集メニューが表示され、コマンドをタップすることで、切り取り、コピー、貼り付け、削除が実行できます。

参考：[記号を移動する](#)、[記号を削除する](#)、[記号をコピーする](#)、[メモを削除する](#)、[メモをコピーする](#)

記号・メモの選択を解除するには、楽譜の何も記号・メモがないところをタップします。

音符入力モードでは、記号に重ねて削除するジェスチャーを入力することで、音楽記号を削除することができます。



参考：[記号を削除する](#)

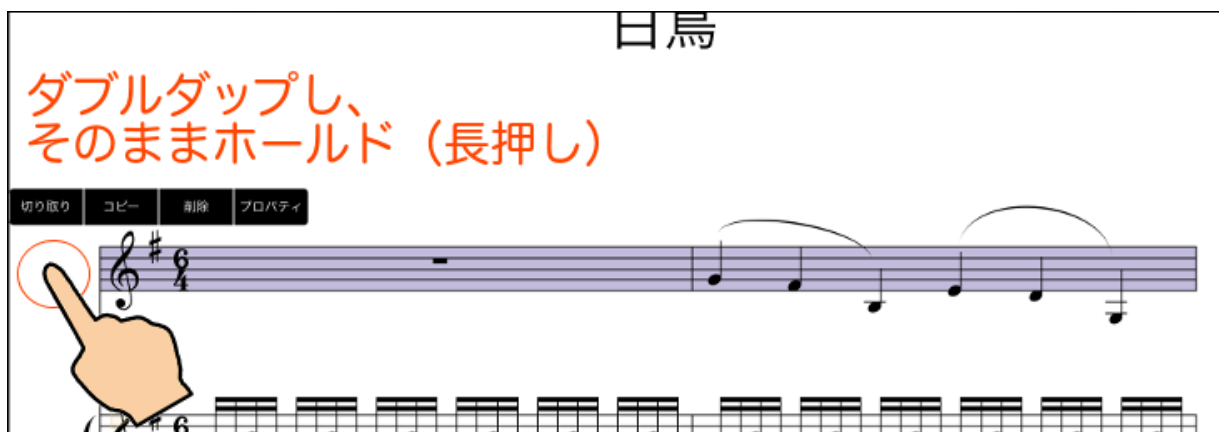
小節・パートの選択と編集

小節やパートを選択することで、小節内・パート内の記号を削除したり、記号をコピーすることができます。

五線の内部をダブルタップし、2度目のタップでそのままホールド（長押し）すると、小節を選択することができます。



五線の左または右をダブルタップし、2度目のタップでそのままホールド（長押し）すると、パートを選択することができます。（パートの全小節が選択された状態になります。）



参考：[小節をコピーする](#)、[パートをコピーする](#)


記号・パートのプロパティ、楽譜の設定

記号やパートを選択し、編集メニューの「プロパティ」をタップするか

ボ




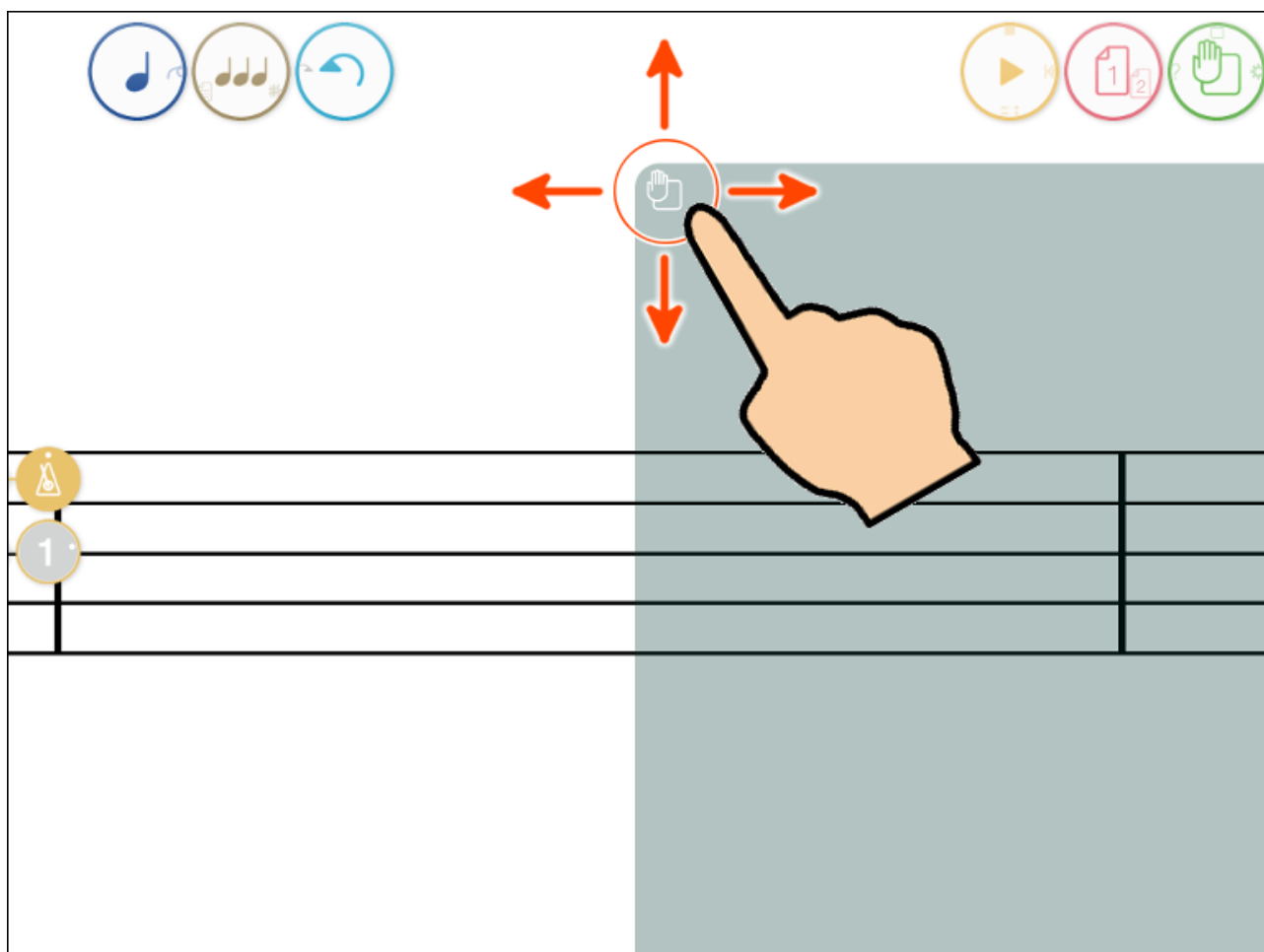
タンをタップすると、記号やパートの設定をすることができます。


また、何も選択せずに  ボタンをタップすると、楽譜全般の設定を行うことができます。

参考：[記号のプロパティ](#)、[パートのプロパティ](#)、[楽譜の設定](#)

リストガード

 ボタンをタップすると、リストガードが表示されます。



リストガードは、タッチペンなどを利用して楽譜を描く場合に、画面に手を置いても誤検出しないためのものです。左上の  アイコンをドラッグして、手のあたる位置にリストガードがくるように調整してください。

リストガードは左側に表示させることもできます。

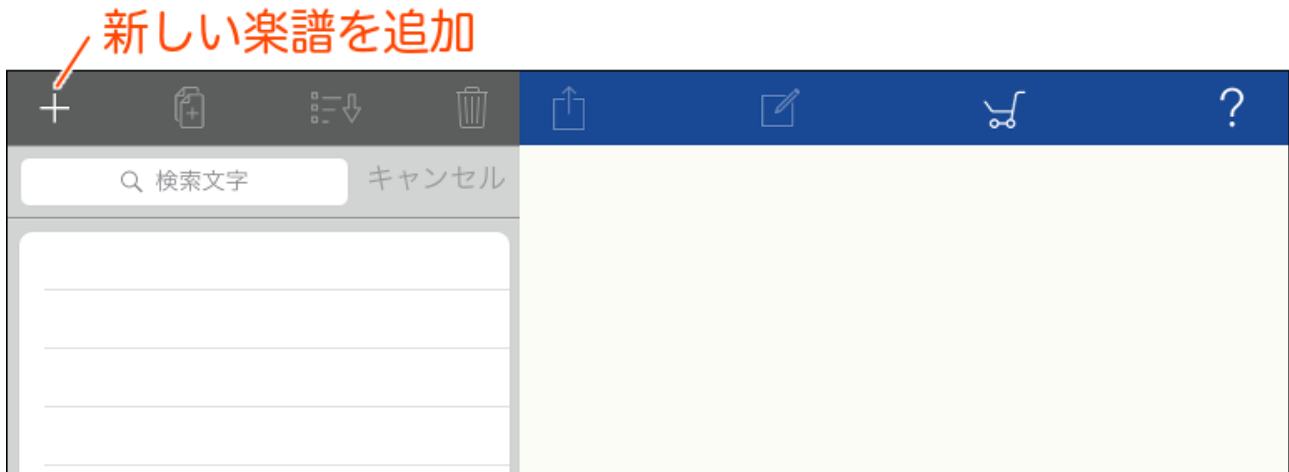
参考：[アプリの設定](#)

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

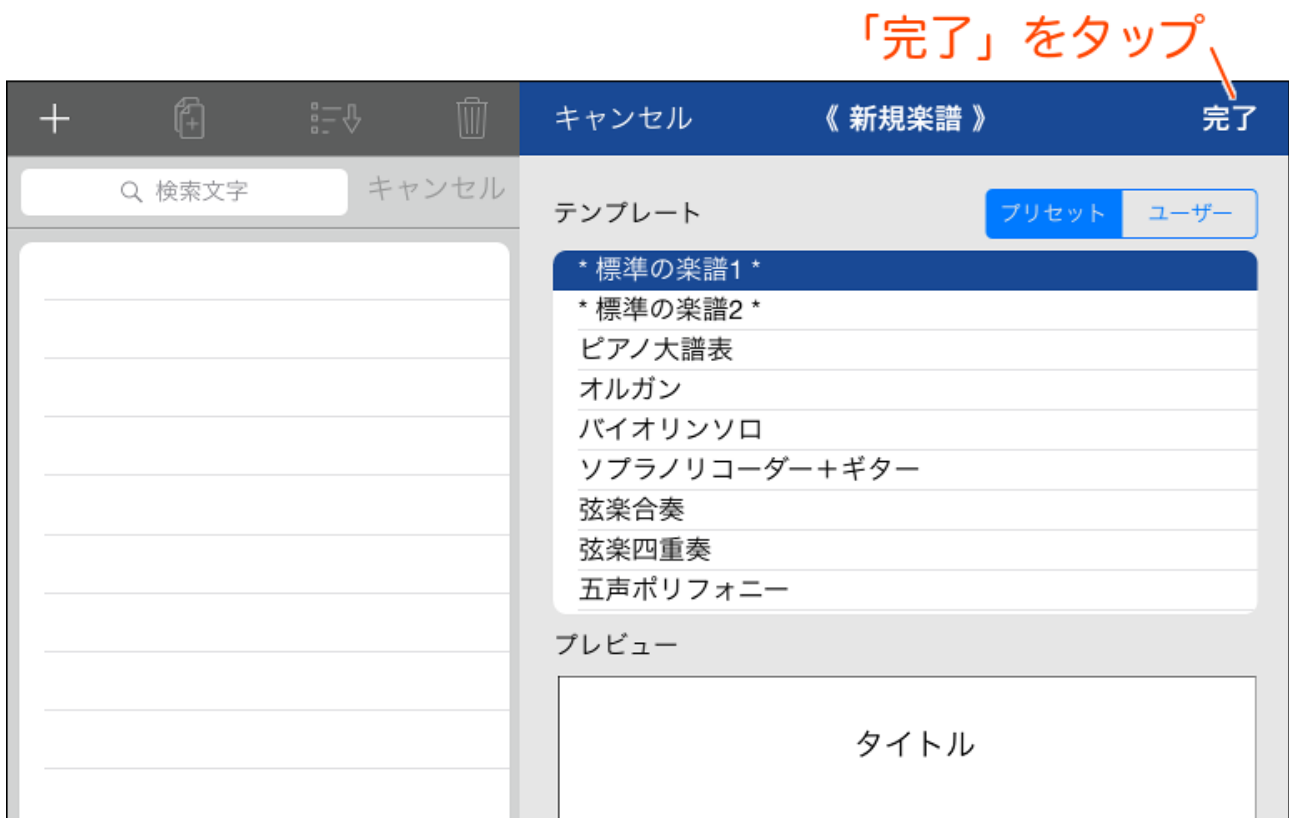
簡単な使い方

1. 最初に起動した直後は、以下のライブラリ画面になっています。（もし、ライブラリ画面になっていない場合は、以下の手順6. をご覧になり、ライブラリ画面に切り替えてください。）

新しい楽譜を作成したい場合は、左上の「+」ボタンをタップします。



2. 画面の右側に新しく作る楽譜の情報が表示されます。まずは、このまま「完了」ボタンをタップしてみましょう。



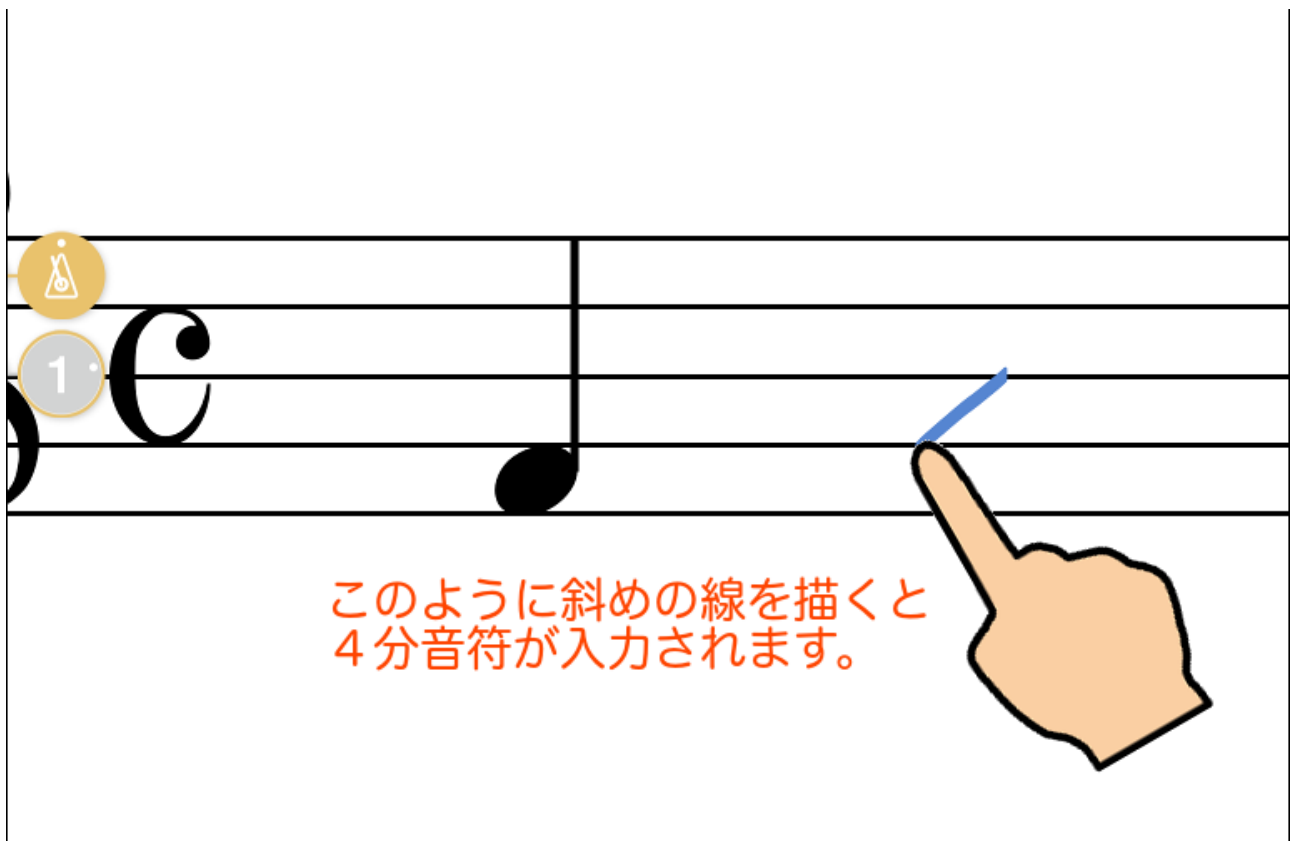
参考：[新しい楽譜を作る](#)

3. 楽譜編集画面に切り替わりました。この画面で楽譜の編集ができます。最初の小節をダブルタップして拡大表示し、音符を入力してみましょう。



参考：[画面各部の名称と基本操作](#)

4. 斜めの線を描くと4分音符が入力できます。いくつか入力してみましょう。

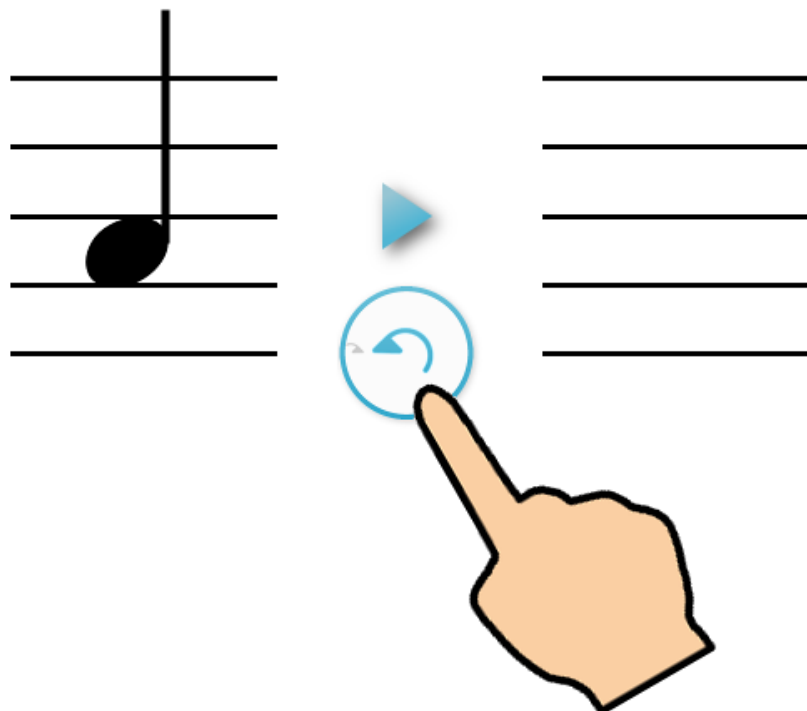




このように斜めの線を描くと
4分音符が入力されます。

参考：[手書きで記号を入力する](#)

5. 入力を取り消すには、アンドゥボタンをタップします。

アンドゥボタンをタップすると、
最後に入力した記号が消えます。



6. 再び画面をダブルタップすると全体表示に戻ります。(1)  ボタンをタップして演奏させてみましょう。(2)  ボタンをタップするとライブラリ画面に戻ります。




(1)演奏開始
タイトル

(2)ライブラリ画面に戻る

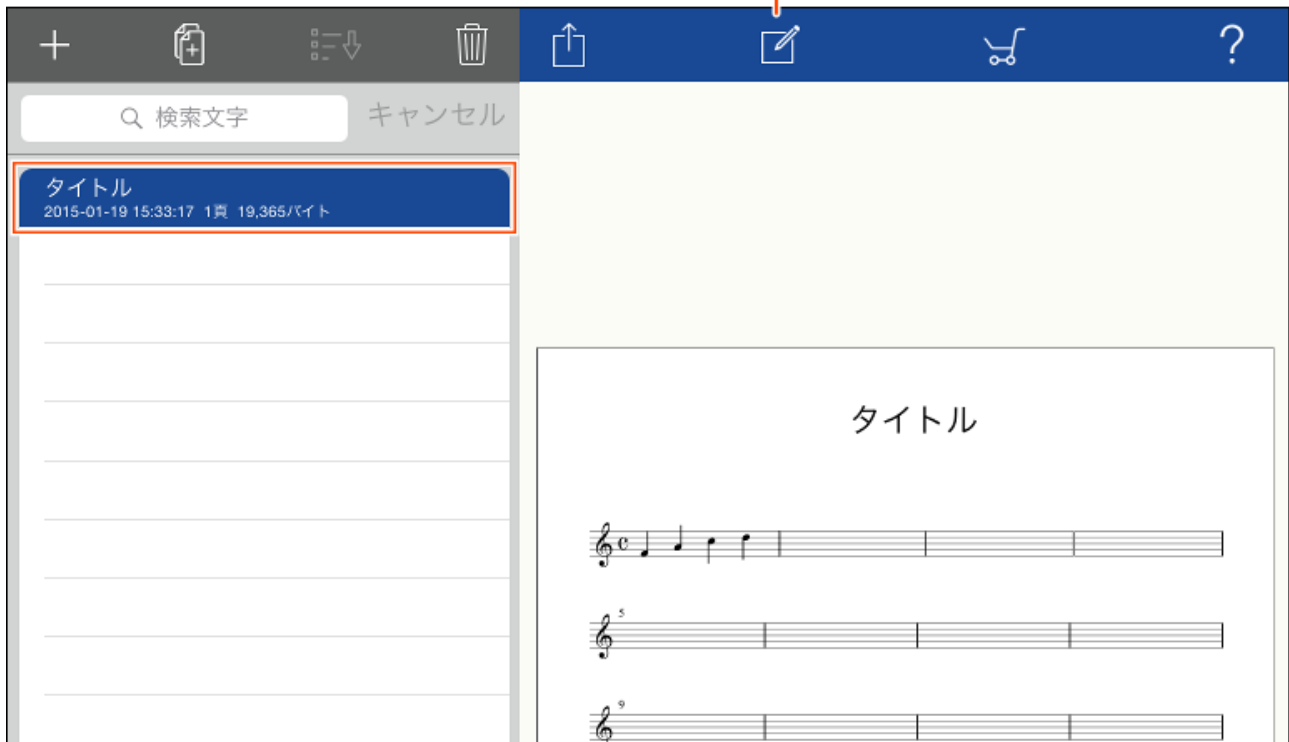
サークルコントロールについて
サークルコントロールは、ボタンをスワイプすることでコマンドを切り替えることができます。

下方方向にスワイプ

参考：[楽譜を演奏する](#)、[画面各部の名称と基本操作](#)

7. ライブラリ画面の左の「楽譜リスト」に、現在編集した楽譜のタイトル、その他の情報が表示されており、画面の右には楽譜のプレビューが表示されています。 ボタンをタップすると、再びこの楽譜を編集することができます。別の楽譜を追加し編集する場合は、手順 1. に戻ります。

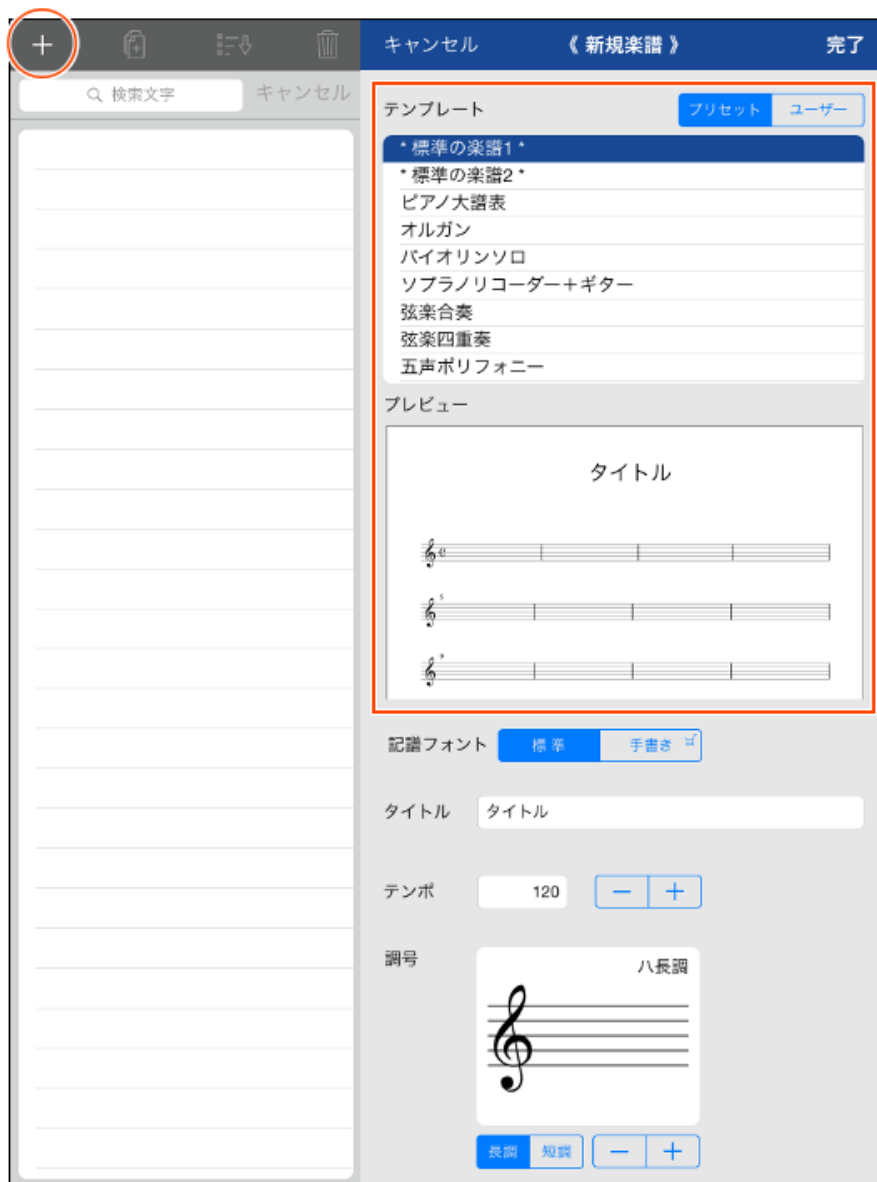
楽譜を編集



参考：[楽譜を保存する・開く](#)

新しい楽譜を作る

1. まず、ライブラリ画面になっていない場合は、ライブラリ画面に移動します。（「[簡単な使い方](#)」を参照してください。）
2. 画面左上の「+」ボタンをタップします。



3. 画面の右側に新しく作る楽譜の情報が表示されます。まずは、どのようなパート構成の楽譜を作りたいかによって、テンプレートのリストをタップして最も近いものを選択します。テンプレートを切り替えると下のプレビューが更新されますので、プレビューを見ながら選択します。

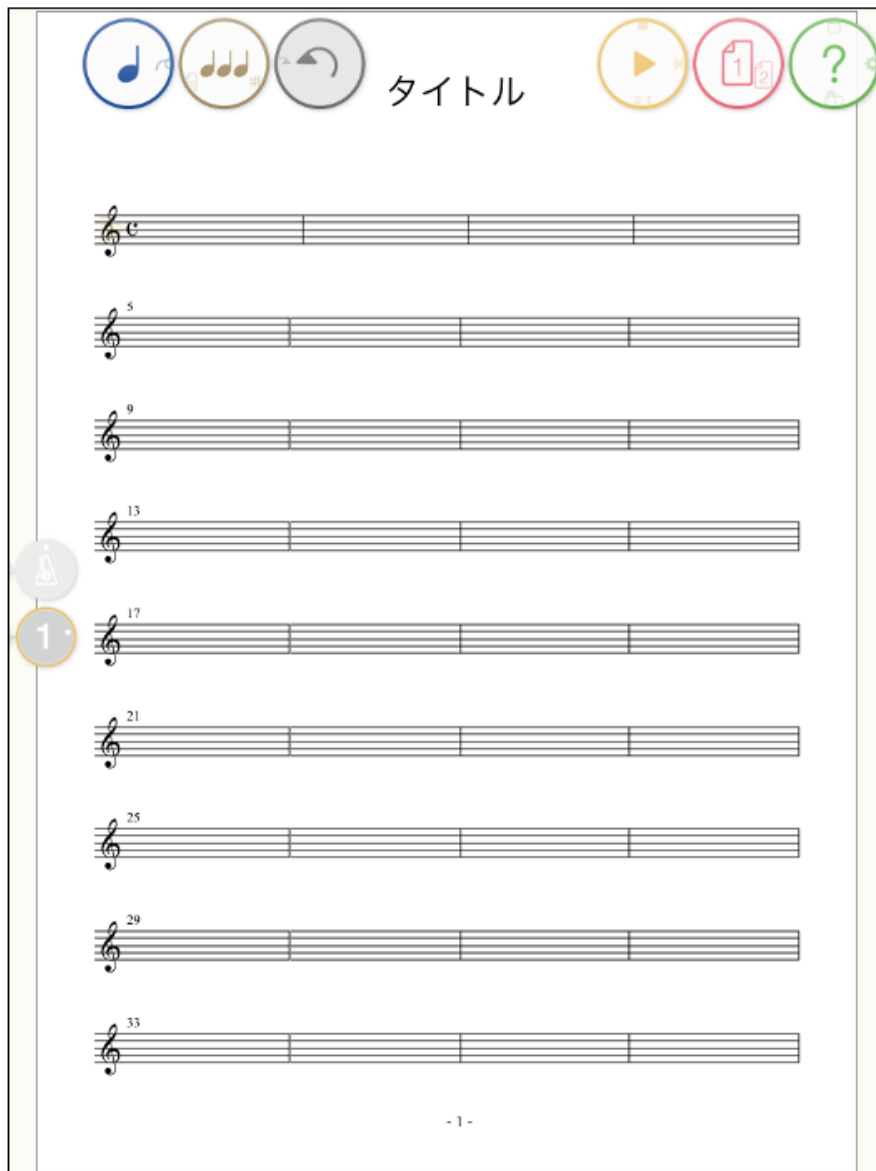
テンプレートはプリセット以外にユーザーテンプレートから選択することもできます。ユーザーテンプレートの保存については、[テンプレート保存](#)をご覧ください

い。

4. テンプレートを決定したら、必要に応じて、記譜フォント、タイトル、テンポ、調号、拍子、用紙サイズも変更します。（記譜フォント、タイトル、テンポ、用紙サイズは、後から[楽譜の設定](#)で修正することもできます。調号と拍子は[手書きによる入力](#)で修正できます。）

5. 以上の設定が終わったら、画面右上の「完了」ボタンをタップします。

6. 自動的に楽譜編集画面に切り替わります。




手書きで記号を入力する

タッチノーテーションの最大の魅力は、楽譜に音符などの音楽記号を入力するのに、紙の楽譜に書くように、直接画面上に手書きして入力できることです。

また、4分音符は符頭を表す斜めの線を描くだけで入力できるなど、紙の楽譜に書くよりもさらに高速に、しかもきれいな楽譜として入力できます。

入力は指でもかまいませんが、指ですと、入力している箇所が隠れてしまいますので、タッチペンをお使いいただくことをお勧めします。タッチペンなどを利用して楽譜を描く場合に、画面に手を置いても誤検出しないようにする[リストガード](#)の機能もあります。


入力の手順

1. 楽譜編集画面になっていない場合は、 ボタンをタップして楽譜編集画面に切り替えます。

参考：[簡単な使い方、新しい楽譜を作る](#)

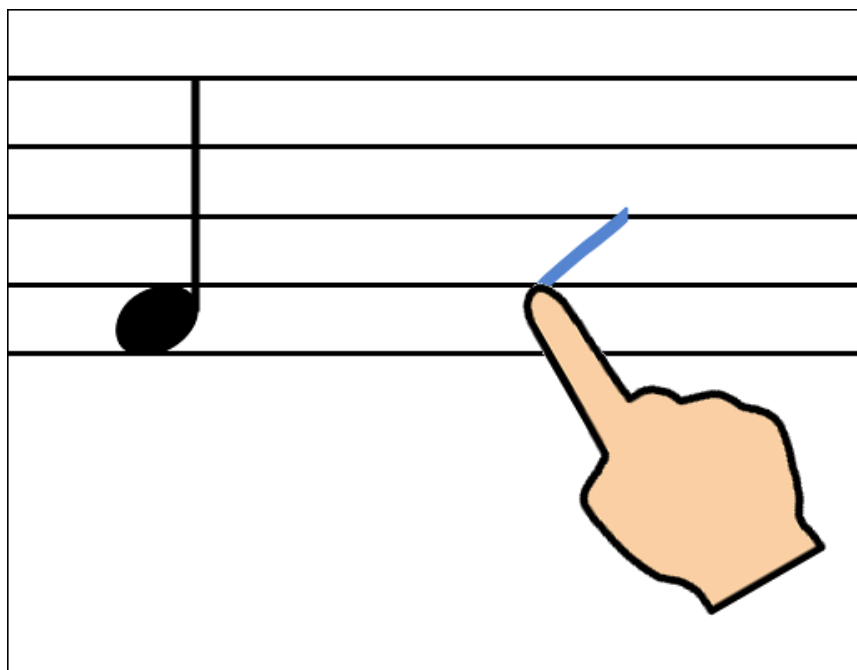
2. 記号を入力し易いように、画面を拡大します。

参考：[ダブルタップによる拡大・縮小](#)

3. 音符入力モード  にします。

参考：[サークルコントロールの操作方法](#)

4. 紙の楽譜に書くように、画面をなぞって音符などの記号を入力します。例えば、4分音符を入力する場合、符頭を表す斜めの線を描くだけで入力できます。



入力可能な記号の一覧と入力方法は、[手書き入力できる記号の一覧 \(動画\)](#) を参照してください。記号によっては、実際に紙に書く場合とは異なるストロークで描くものもありますので、[手書き入力できる記号の一覧 \(動画\)](#) の説明と動画をよくご覧ください。

参考：[記号を削除する](#)

手書き入力できる記号の一覧（動画）

以下の記号が手書きで入力できます。基本的には、紙に書く場合と似たような書き方で入力しますが、特に画数が多いものは、すべて描かずに途中まで描けば入力できるものもあります。（例えば、4分音符は符尾を描く必要はありませんし、ペダル記号のように、特殊な入れ方をするものもあります。）思ったように記号が入力できないときは、以下の「入力の仕方」と「動画」をよくご覧ください。なお、複数の画数で描くものは、間を置かず、続けて描くようにします。







[音符／休符](#) [臨時記号](#) [調号](#) [音部記号](#) [拍子記号](#) [タイ／スラー](#) [強弱記号](#) [奏法記号](#) [装飾記号](#) [オッターヴァ](#) [メトロノーム記号](#) [小節線](#) [反復記号](#) [繰り返し括弧](#) [省略記号](#)
[ジェスチャー](#)

このpdfファイルに動画は含まれません。

動画は、<http://cmusic.kawai.jp/products/tn/handwriting.htm>でご覧になれます。

音符／休符

種類	入力の仕方	動画
全音符	円、左上がり楕円	
2分音符	右上がり楕円、全音符に符尾（ぼう）を追加（逆に2分音符の符尾を削除すると、全音符になります。）	
4分音符	符頭のみ入力。斜線（上から、または、下から）、多重円	
8分音符～64分音		

符	4分音符に「はた」を追加	
全休符	 一筆、または、2画で。	
2分休符	 一筆、または、2画で。	
4分休符		
8分休符		
16分休符～64分休符	8分休符に  を追加	
付点	符頭・休符の右に点	
連桁	符尾と符尾を横線で結ぶ 短い連桁は、符尾に向かって線を引く	
連符	連符にする音符を  で囲む（一筆、または、2画で。）	
加線	加線を描いた後に符頭を描く （五線から離れた位置に符頭を描くと、自動的に加線が付きます。）	
和音	普通に符頭を重ねて入力すれば和音になります。2度の和音は、ずらさずに同じ位置に重ねるようにして入力します。	
	逆向きの符尾を描くこと	

<p>符尾（ぼう）の向き</p>	<p>で、符尾の向きを変更できます。その音符の通常の符尾の向きと逆向きに設定すると、その後入力した音符の符尾の向きは、その向きに固定になります。再び、通常の向きで入るようになるには、いずれかの音符の符尾の向きを通常の向きに修正します。</p>	
<p>長休符</p>	<p>全休符の上に2～256の数字を入力 （1を上書きすると全休符に戻ります。） <数字見本> 0123456789</p> <p>長休符を入力する小節（他パート含む）に長休符と共存できない記号が存在していると長休符を入力することはできません。長休符と共存できるのは、調号、音部記号、拍子記号、メトロノーム記号、反復記号、繰り返し括弧、発想標語です。これら以外の記号が同じ小節にあると、長休符は入力できません。</p>	

種類	入力の仕方	動画
ナチュラル	音符の左に q	
シャープ	音符の左に #	
フラット	音符の左に b （一筆、または、2画で。）	
ダブルシャープ	音符の左に x	
ダブルフラット	b の左に b	

臨時記号の位置は固定です。（移動することはできません。）

調号

種類	入力の仕方	動画
ハ長調（イ短調）	小節の左端に q	
# 1 ~ # 7	小節の左端に # で1つ入れて、数字上書きで数変更（0（ゼロ）を上書きするとハ長調（イ短調）に変更できます。） <数字見本> 0123456789	
b 1 ~ b 7	小節の左端に b で1つ入れて、数字上書きで数変更（0（ゼロ）を上書きする	

と八長調（イ短調）に変更
できます。）

調号の位置は固定です。（移動することはできません。）

音部記号

種類	入力の仕方	動画
ト音記号	五線内に 	
ヘ音記号	五線内に 	
ハ音記号	五線内に  または、 	
パーカッション記 号 (ドラム譜用)	曲頭の音部記号上に 	

五線左端の音部記号の位置は固定です。（移動することはできません。）

拍子記号

種類	入力の仕方	動画
----	-------	----

C	小節の左端に C	
C	C に を上書き	
その他	<p>小節の左端に分子または分母の数字を入力 上書きで分子・分母の数字を変更 (分子に入力できる数字は、1~255、分母に入力できる数字は、2, 4, 8, 16です。) <数字見本> 0123456789</p>	

拍子記号の位置は固定です。(移動することはできません。)

タイ/スラー





種類	入力の仕方	動画
タイ	符頭から符頭へ	
スラー	符頭(符尾の先端)から符頭(符尾の先端)へ	

強弱記号

種類	入力の仕方	動画
> (アクセント)	音符の上または下に >	
<i>sfz</i> (スフォルツァンド)	音符の上または下に <i>sfz</i>	
	五線の上または下に 2	

<i>p</i> ~ <i>ppp</i>	画で <i>pp</i> ~ <i>ppp</i> は、 <i>p</i> の横に <i>p</i> を追加	
<i>mp</i>	五線の上または下に <i>mp</i>	
<i>mf</i>	五線の上または下に <i>mf</i>	
<i>f</i> ~ <i>fff</i>	五線の上または下に <i>f</i> <i>ff</i> ~ <i>fff</i> は、 <i>f</i> の横に <i>f</i> を追加	
◁ (クレッシェンド)	五線の上または下に ◁ (一筆、または、2画で。)	
▷ (デクレッシェンド)	五線の上または下に ▷ (一筆、または、2画で。)	

奏法記号

種類	入力の仕方	動画
スタッカート	音符の上または下に点	
テヌート	音符の上または下に —	
フェルマータ	音符の上に  または下に 	
ペダル	五線の下に 	
センツァ	五線の下に *	
アルペジオ	音符の左に 	


装飾記号

種類	入力の仕方	動画
トリル	音符の上に tr (波線の長さを変えるには、囲んで選択し、終点を移動します。)	

オッターヴァ

種類	入力の仕方	動画
<i>8va</i>	五線の上または下に 8v (範囲を変更するには、囲んで選択し、終点を移動します。 五線の下に入力すると、 <i>8va bassa</i> (1オクターブ下げる) の意味となります。)	

メトロノーム記号



種類	入力の仕方	動画
 =120	五線の上に数字のみ入力 (数字は、10~500が入力できます。左の音符は、入力した小節の拍子によって自動的に決まります。) <数字見本>	

小節線

種類	入力の仕方	動画
	五線内に縦線	
	の横に縦線	
	の右に太線（1往復半の縦線を描きます。少し幅を持たせて、1本の線にならないようにします。）	
:	の右に点2つ	
:	の左に点2つ	
: :	: または : の横に点2つ	

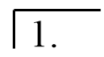

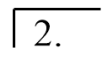
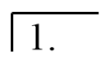
反復記号

種類	入力の仕方	動画
<i>D.C.</i>	五線の下に DC	
<i>D.S.</i>	五線の下に DS	
♯	五線の上に S	
<i>Fine</i>	五線の下に <i>Fi</i>	
to ⊕	五線の上に to	







 Coda	五線の上に  または CO	
---	--	--

反復記号の位置は固定です。（移動することはできません。）

繰り返し括弧

種類	入力の仕方	動画
	五線の上に  のみ	
 ~	 に数字を上書き （入力できる数字 は、1~256までで す。1.2のように複数の数 字を点で区切って入力する と、複数の番号を持つ繰り 返し括弧も入力できま す。） <数字見本> 0123456789	



省略記号

種類	入力の仕方	動画
	五線の内部に 	
	小節線の上に 	
	小節線の上に 	

ジェスチャー

音符入力モードでは、以下のジェスチャーが使用できます。


機能	説明	動画
フリックスクロール	楽譜が拡大表示されているときに画面をすばやく1本指で左右にスワイプすると、前後の小節に移動できます。楽譜の横幅が画面に収まっている場合は、ページの切り替えとなります。	
記号の選択	複数の記号を枠で囲むことで、選択することができます。	
記号の削除	削除したい記号に重ねて V X Z （1往復半以上の横線）を描くと、その記号を削除できます。	[
パートの追加	五線の左に + を入力すると、パートが追加できます。五線の中央より上に + を入れると、そのパートの上に、五線の中央より下に + を入れると、そのパートの下に新しいパートが追加されます。	
パートの削除	五線の左に X を入力すると、パートを削除することができます。	
	演奏を開始したい小節の五	

<p>演奏開始</p>	<p>線の上で右向きに  あ るいは  を入力する と、その小節から演奏しま す。</p>	
<p>発想標語入力</p>	<p>楽譜上に e を入力する と、発想標語が入力できま す。</p>	
<p>コード入力</p>	<p>楽譜上に c を入力する と、コードネームが入力で きます。</p>	


発想標語を入力する

速度標語などの複数のテキストからなる発想標語は、手書きではなくキーボードを使って入力します。

入力の手順

1. 楽譜編集画面になっていない場合は、 ボタンをタップして楽譜編集画面に切り替えます。

参考：[簡単な使い方、新しい楽譜を作る](#)

2. 音符入力モード  にします。

参考：[サークルコントロールの操作方法](#)

3. 楽譜上の発想標語を入力したい場所に「e」を手書きで入力します。



すると、以下のように画面下部にキーボードが現れ、「e」を入力した位置にテキストボックスが表示されます。



4. キーボードで入力したい発想標語の最初の文字を入力します。（以下の例では、Aを入力）すると、以下のように、プリセットの発想標語のうち入力した文字で始まるものがリスト表示されます。



5. リストのどれかを選択すると、その文字がテキストボックスに入力されますので、キーボードの「Done」をタップして確定します。



プリセット発想標語の一覧は、[発想標語の初期プリセット一覧](#)を参照してください。

上記手順では、プリセットの中から選択しましたが、これに限らず、キーボードから自由な文字列を入力して追加することもできます。一度入力した発想標語は、自動的にプリセット（上記、手順4. で出てくるリスト）に追加されますので、次回以降はリストから選択するだけで入力できま

す。

また、発想標語はフォントと演奏方法のパラメータを持っています。プリセットから選択し、その文字列を修正した場合は、これらのパラメータは元にしたプリセットのパラメータを引き継ぎます。プリセットを選択せずに入力した場合は、パラメータは初期値が設定されます（演奏方法は「なし」）。入力後の発想標語のパラメータは、[記号のプロパティ](#)で設定することができます。パラメータを設定するとプリセットの同じ文字列の発想標語のパラメータも連動して変更されますので、入力の度に設定する必要はありません。ただし、元々タッチノーテーションにプリセットされている発想標語（上記入力時のリストで、文字列の最後に*が付いているもの）については、プリセットのパラメータは固定で、変更できません。
参考：[記号のプロパティ](#)


発想標語の初期プリセット一覧

記号	意味	演奏方法のパラメータとその初期値
dim.	だんだん弱く	強弱の時間的変化：ベロシティ加算量(-40)
cresc.	だんだん強く	強弱の時間的変化：ベロシティ加算量(20)
decresc.	だんだん弱く	強弱の時間的変化：ベロシティ加算量(-20)
Grave	重々しく、遅く	速さ：4分音符/分(40)
Largo	幅広く遅く	速さ：4分音符/分(46)
Lento	遅く	速さ：4分音符/分(52)
Adagio	ゆるやかに	速さ：4分音符/分(58)
Larghetto	ラルゴよりやや速く	テンポ：4分音符/分(60)
Andante	歩くような速さで	速さ：4分音符/分(66)
Moderato	中ぐらいの速さで	速さ：4分音符/分(84)
Allegretto	やや速く	速さ：4分音符/分(108)
Allegro	速く	速さ：4分音符/分(132)
Vivace	活発に	速さ：4分音符/分(160)
Presto	急速に	速さ：4分音符/分(184)
Prestissimo	きわめて速く	速さ：4分音符/分(200)
		速さの時間的変化：変化

accel.	だんだん速く	率(150%)：次第に
piu mosso	より速く	速さの時間的変化：変化率(135%)：直ちに
meno mosso	より遅く	速さの時間的変化：変化率(80%)：直ちに
rit.	だんだん遅く	速さの時間的変化：変化率(67%)：次第に
riten.	直ちに遅く	速さの時間的変化：変化率(70%)：直ちに
allargando	だんだん遅くするとともにだんだん強くする	強弱と速さの時間的変化：ベロシティ加算量(20)：テンポ変化率(50%)：次第に
Smorzando	だんだん遅くするとともにだんだん弱くする	強弱と速さの時間的変化：ベロシティ加算量(-30)：テンポ変化率(67%)：次第に
a tempo	もとの速さで	速さの時間的変化：変化率(100%)：直ちに
Tempo I	はじめの速さで	曲頭の速さに戻す


上記以外にも、自由な文字列が入力可能です。

コードネームを入力する（アプリ内課金）


コードネームの入力は[アプリ内課金](#)項目です。ライブラリ画面のカートアイコン  から「コードネーム」を購入いただくと利用できるようになります。

コードネームは以下の手順で入力できます。

入力の手順

1. 楽譜編集画面になっていない場合は、 ボタンをタップして楽譜編集画面に切り替えます。

参考：[簡単な使い方、新しい楽譜を作る](#)

2. 音符入力モード  にします。

参考：[サークルコントロールの操作方法](#)

3. 楽譜上のコードネームを入力したい場所に「c」を手書きで入力します。



すると、以下のように画面下部にキーボードが現れ、「c」を入力した位置にテキストボックスが表示されます。

弾き語り譜

コードネーム

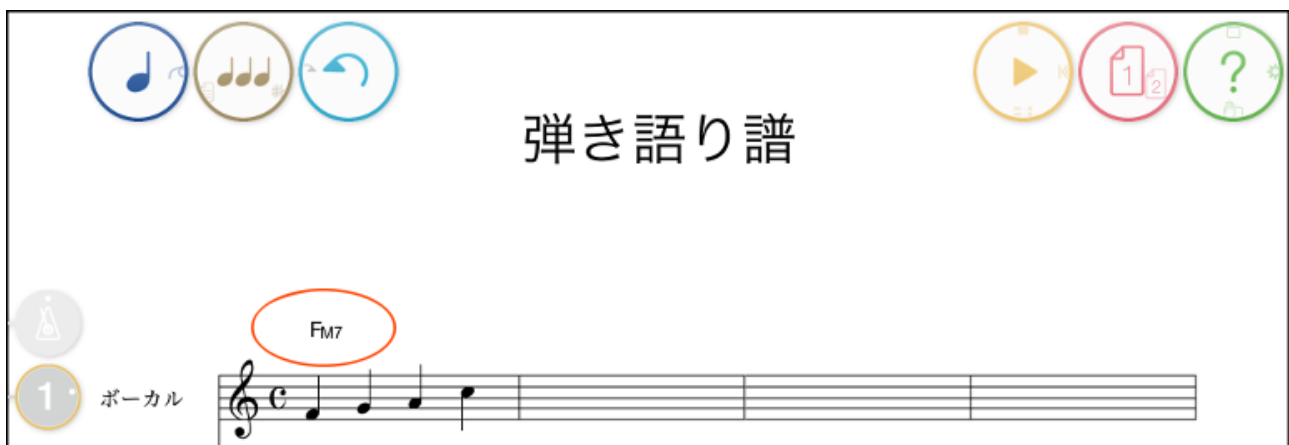
1 ボーカル

C	D	E	F	G	A	B	#	+
m	M	aug	dim	sus	add	m7 \flat 5	\flat	-
/	2	4	5	6	7	9	11	13
					Done			

4. コードネーム入力用のキーボードで、コードネームを入力します。（以下の例では、「F M 7」を入力）



5. キーボードの「Done」をタップして確定します。コードネーム自動書式に設定されたルールでコードネームが表示されます。



上記手順では「F M 7」と入力しましたが、例えば、テンションコードは「G 7 b 9」、分数コードは「C / G」のように入力します。確定後のコードネームは、自動書式設定のルールに従って表示されます。表示方法を変えたい場合は、[楽譜の設定](#)の「コードネームの設定」で自動書式設定を変更します。






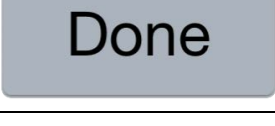
入力したコードネームを選択し編集メニューから「編集」をタップすると再びキーボードが開きますので、コードタイプなどを変更することができ

ます。

コードネーム入力用キーボード

コードネーム自動書式がオンの場合（初期状態）は、上記のようなコードネーム入力用のキーボードが画面下部に現れます。

コードネーム入力用キーボードの上3段はコードネームを入力するためのボタンですが、最下段は以下のような機能を持つボタンです。

	タップするたびに、上3段のボタンを、通常のコードネーム文字入力用ボタン/この楽譜で使われているコードネーム/この楽譜のキーでよく使われるコードネームの3種類に切り替えることができます。
	コードネームの設定を開きます。
	入力したコードネーム文字を1文字削除します。
	コードネームを確定し、コードネーム入力用テキストボックスを1つ前のビートに表示します。
	コードネームを確定し、コードネーム入力用テキストボックスを1つ後のビートに表示します。
	コードネームを確定します。

コードネーム自動書式

初期状態ではコードネームの自動書式はオンになっており、[楽譜の設定](#)の「コードネームの設定」で設定された自動書式のルールでコードネームは表示されます。

[アプリの設定](#)の「コードネーム」「自動書式」をオフにすると、自動書式オン状

態では入力できない特殊なコードネームを入力できるようになります。コードネームを入力するときに画面下部に現れるキーボードが通常のiOSのキーボードとなり、自由な文字列が入力できます。コードネーム自動書式がオンのときのように、コードネームのタイプを下付にしたり、テンションを上付や分数の形で表示したりするには、以下の特殊文字を使います。

>	上付
<	下付
[]	分数コードの指定
{ }	テンションの分数の指定
	分数の区切り

入力例	表示
E>b<<m7>>-5<	$E^b_{m7^{-5}}$
C>(onG)<	$C^{(onG)}$
[G C]	$\frac{C}{G}$
C>{(9 #11 13)}<	$C^{\binom{13}{\#11}_9}$


また、△、φ、○は、^、\$、@で入力します。

装飾音符を入力する


通常の音符に装飾音符を追加することができます。

装飾音符を入れるには、予め通常の音符として入力しておき、後からそれらの音符を選択して装飾音符に変更します。

装飾音符を追加する

1. 楽譜編集画面になっていない場合は、 ボタンをタップして楽譜編集画面に切り替えます。

参考：[簡単な使い方、新しい楽譜を作る](#)

2. 音符入力モード  にします。

参考：[サークルコントロールの操作方法](#)

3. 入力したい装飾音符の主音となる音符を先に入力しておきます。



4. 次に、装飾音符にしたい音符を入力します。付点や連符、臨時記号なども先に入れておきます。



5. 装飾音符にしたい音符をまとめて選択すると、編集用のコンテキストメニューが出ますので、「装飾音符」をタップします。



6. 必要に応じて、装飾音符の種類をタップして選択します。



7. 選択した音符が自動で装飾音符に変換されます。



装飾音符の編集

装飾音符は、編集できません。装飾音符に変更する前の通常の音符の状態のとき、連桁や上下位置を確定し、臨時記号や付点は予め追加しておいてください。

主音の音符に対する装飾音符の左右位置は固定です。主音の音符を移動すると、装飾音符も連動して移動します。

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

ドラム譜を入力する

単独の五線譜やピアノ大譜表の他に、ドラム譜を入力することができます。

ドラム譜を入れるには、ドラム譜入りのテンプレートを利用する方法や、通常
の五線譜を後からドラム譜に変更する方法があります。

テンプレートを使う

1. ライブラリ画面の「+」ボタンをタップします。

参考：[簡単な使い方](#)、[新しい楽譜を作る](#)


2. テンプレートリストの最後の方にドラム譜入りのテンプレートがありますので、使いたいものを選択します。



あとは、楽譜編集画面で、不要なパートを削除したり、必要なパートを追加したりします。

参考：[高度な楽譜編集 \(パートの追加・削除\)](#)

パートのプロパティを使う

1. パートを選択して  ボタンをタップすると、パートのプロパティ画面を開くことができます。

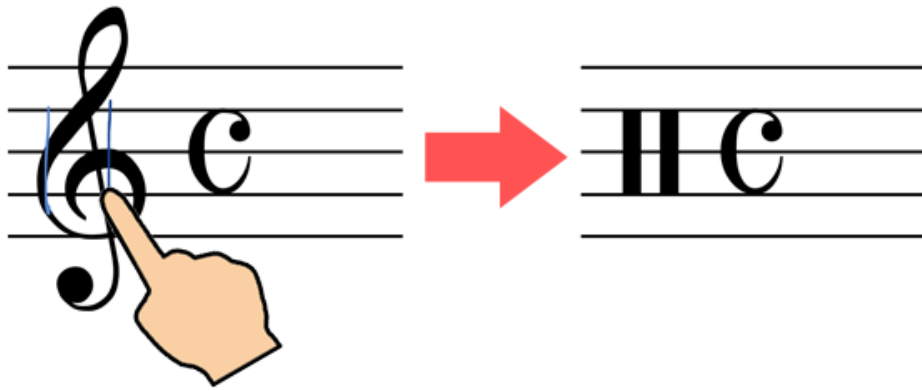
参考：[高度な楽譜編集（パートのプロパティ）](#)

2. パートのプロパティ画面で、譜表をドラム譜に変更します。逆にドラム譜を別の譜表に変更することもできます。



手書き入力を使う

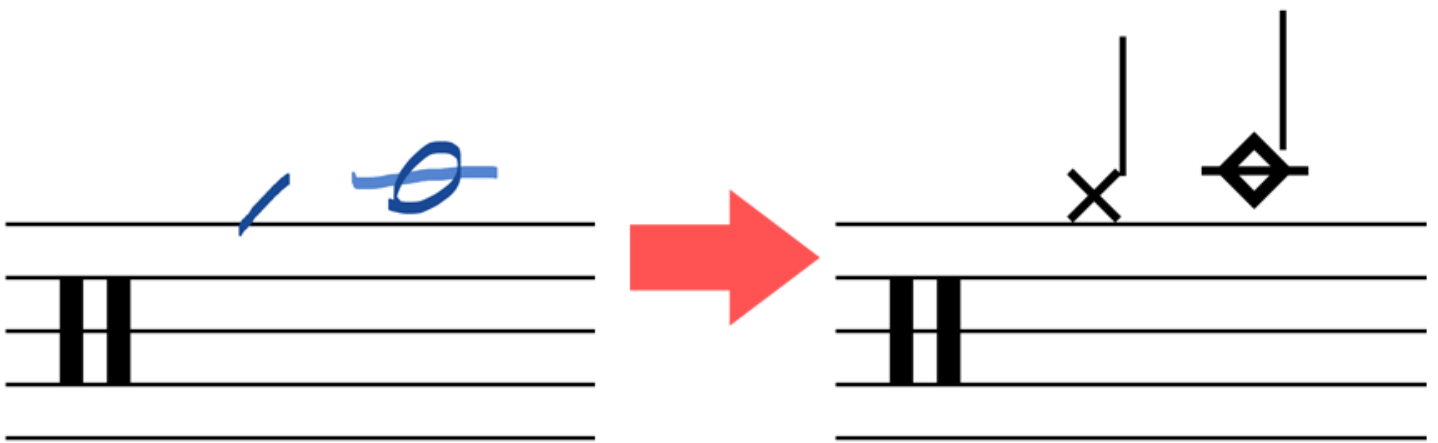
単独の五線譜の曲頭にある音部記号上で、手書き入力ですらドラム譜に変更できます。



参考：[手書き入力できる記号の一覧（動画）](#)

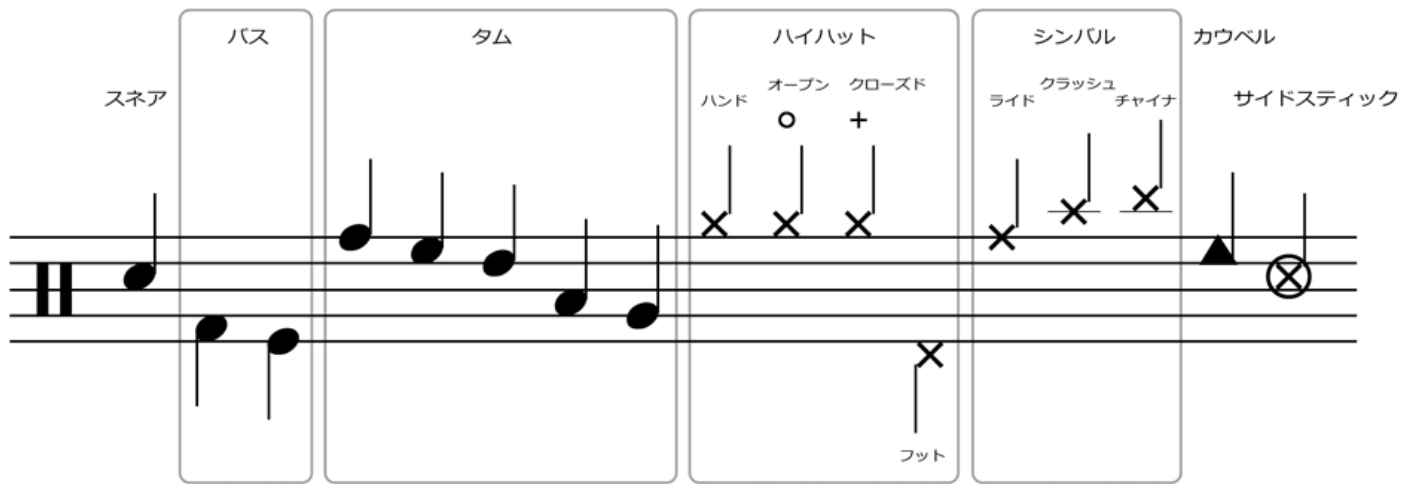
音符の入れ方

通常の五線譜の音符同様、斜線や○を描いて、手書き入力します。

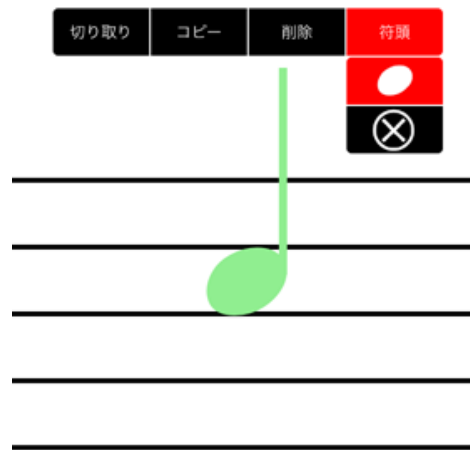


注意：xや◇、△などを描いても、音符は入力できません。

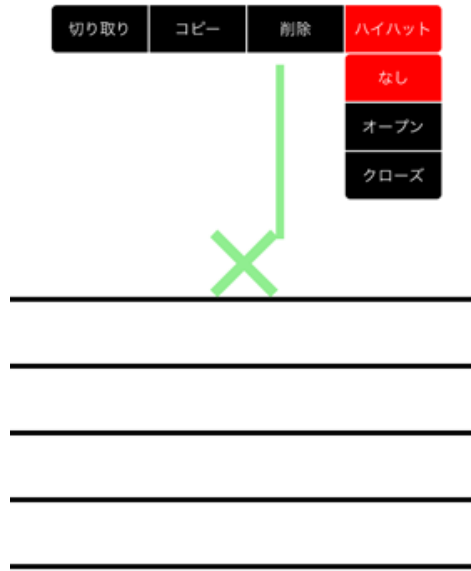
ドラムセット音色は、以下の種類を入力できます。



複数の符頭形状がある音高の音符は、音符を選択したときに開く編集用のコンテキストメニューから「符頭」をタップして、符頭の形状を選択することができます。



オープンハイハットやクローズドハイハットは、ハイハットの音符を選択して開く編集用のコンテキストメニューから「ハイハット」をタップし、ハイハットの種類を選択します。

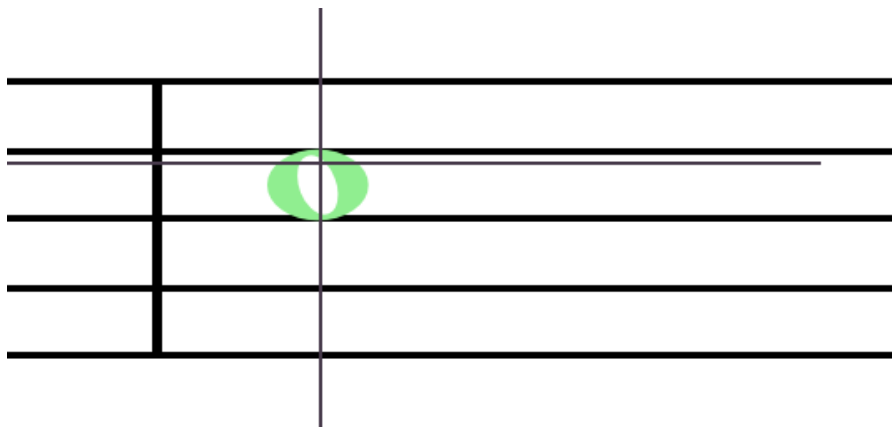


©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

記号を移動する

1つの記号を移動する

1. 音符入力モードのまま、記号をロングタップ（長押し）します。
2. 記号が緑色に光ります。

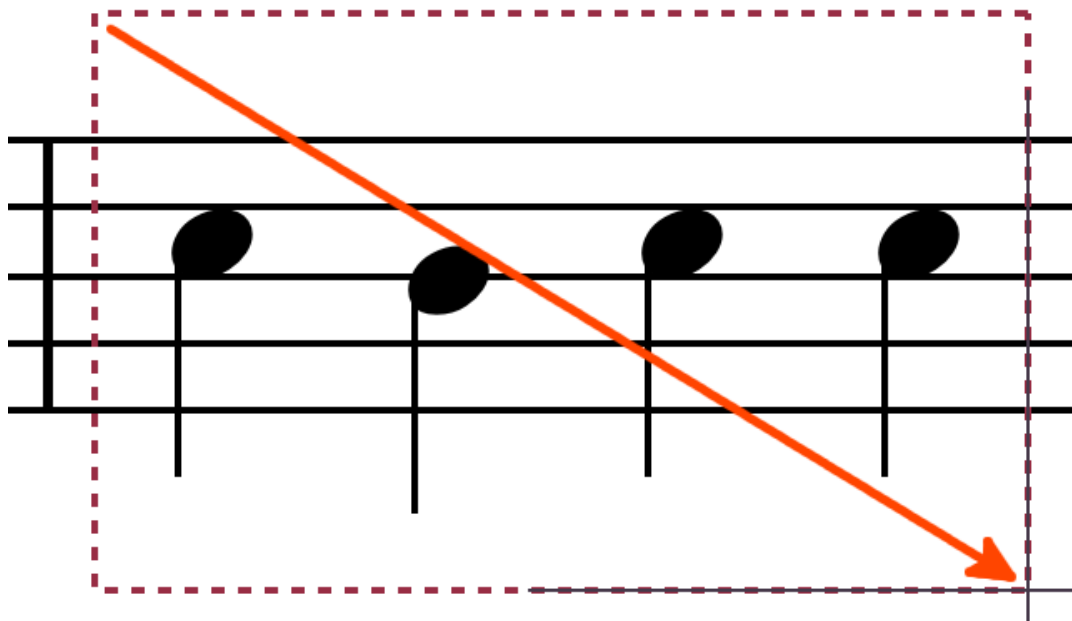


3. そのまま（画面にタッチしたまま）指（ペン）を動かすと、記号が移動します。
4. 指（ペン）を画面から離すと位置が確定します。

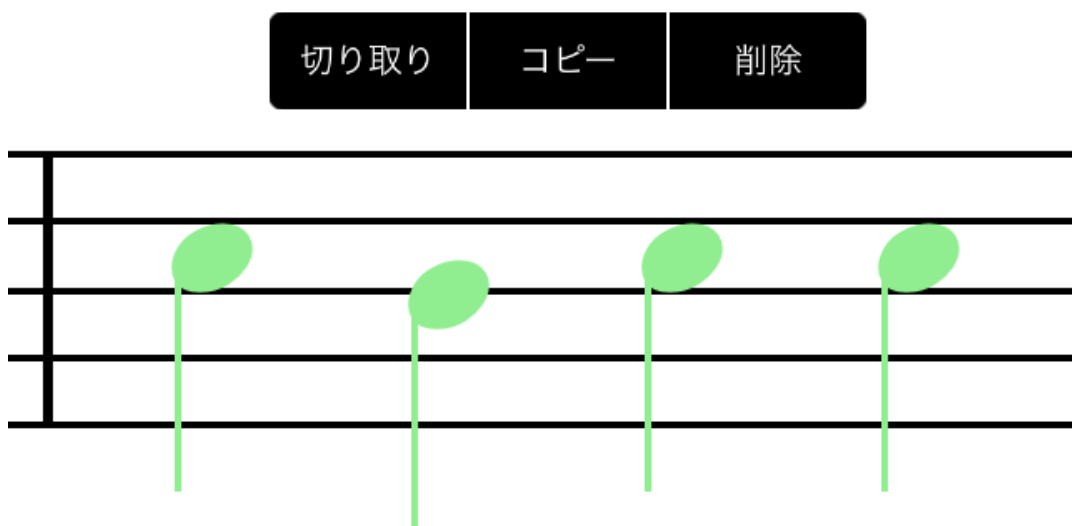
参考：[ドラッグ時のオフセット表示](#)

複数記号をまとめて移動する（1）

1. 音符入力モードのまま、記号以外の場所でロングタップ（長押し）します。
2. 十字の線が表示されます。
3. そのまま（画面にタッチしたまま）指（ペン）を動かすと点線の枠が表示されますので、移動したい複数の記号を囲むようにドラッグし、指（ペン）を画面から離します。



4. 記号が緑色に光ります。

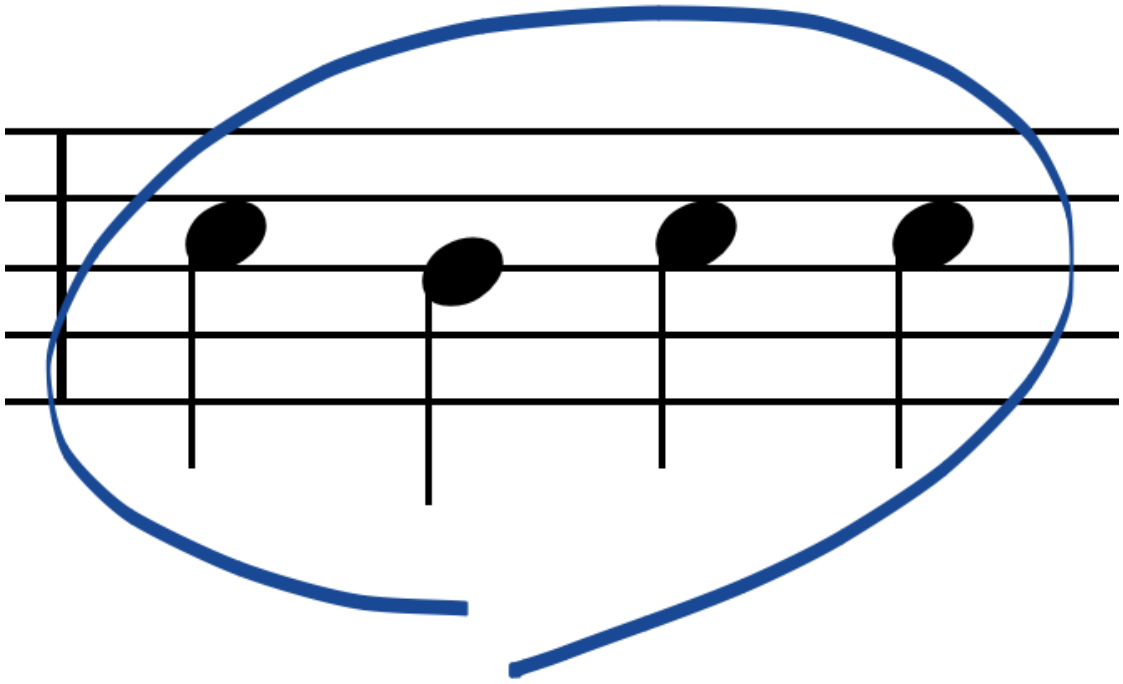


5. 1つの記号を移動するときの要領で、緑色に光った記号の中の1つをドラッグ移動します。複数の記号がまとめて移動します。

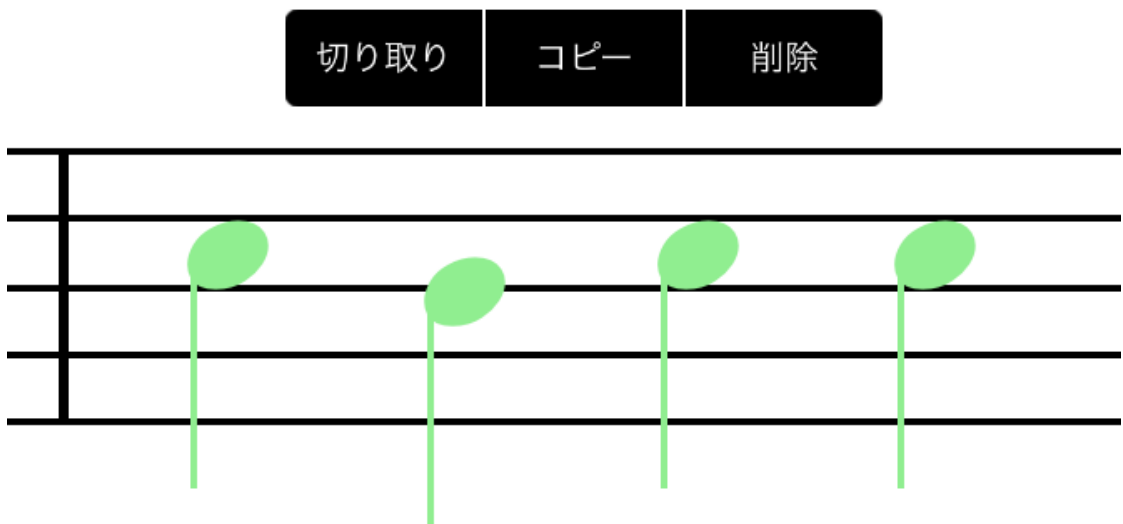
6. 指（ペン）を画面から離すと位置が確定します。

複数記号をまとめて移動する（2）

1. 音符入力モードで、移動したい複数の記号を枠で囲みます。



2. 記号が緑色に光ります。



3. 1つの記号を移動するときの要領で、緑色に光った記号の中の1つをドラッグ移動します。複数の記号がまとめて移動します。

4. 指（ペン）を画面から離すと位置が確定します。

記号の選択を解除するには、楽譜の何も記号がないところをタップします。

記号移動時の注意点

記号移動時にドラッグしているとき、水色の矩形が表示されます。これは、移動後の記号が属する小節を表しています。例えば、以下のような状態で指（ペン）を画面から離すと、*f* は下の五線の小節に属する記号になってしまいます。間違った小節に貼り付けられると、思ったように演奏されない、小節のコピーで一部の記号がコピーされない、などの問題が発生しますので、注意してください。

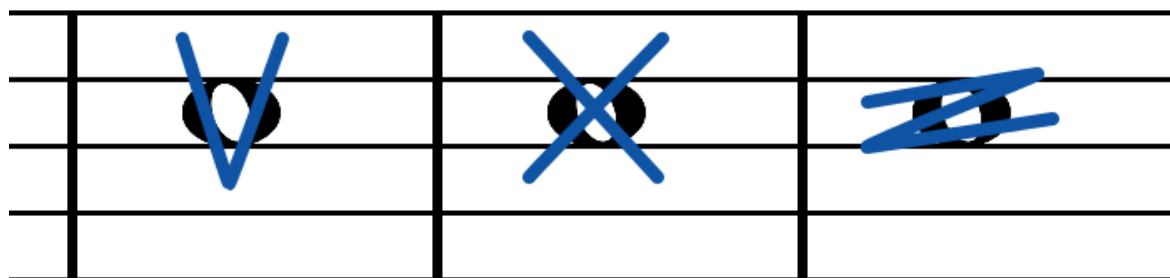


記号を削除する

1つの記号を削除する

削除ジェスチャーによる方法

1. 音符入力モードで、削除したい記号に重ねて V、X、1 往復半以上の横線を描くと、その記号を削除できます。



V、X での削除は、中心に近い1つの記号だけが削除されますが、1 往復半以上の横線での削除は、描いた図形に外接する矩形の範囲の記号をすべて削除します。

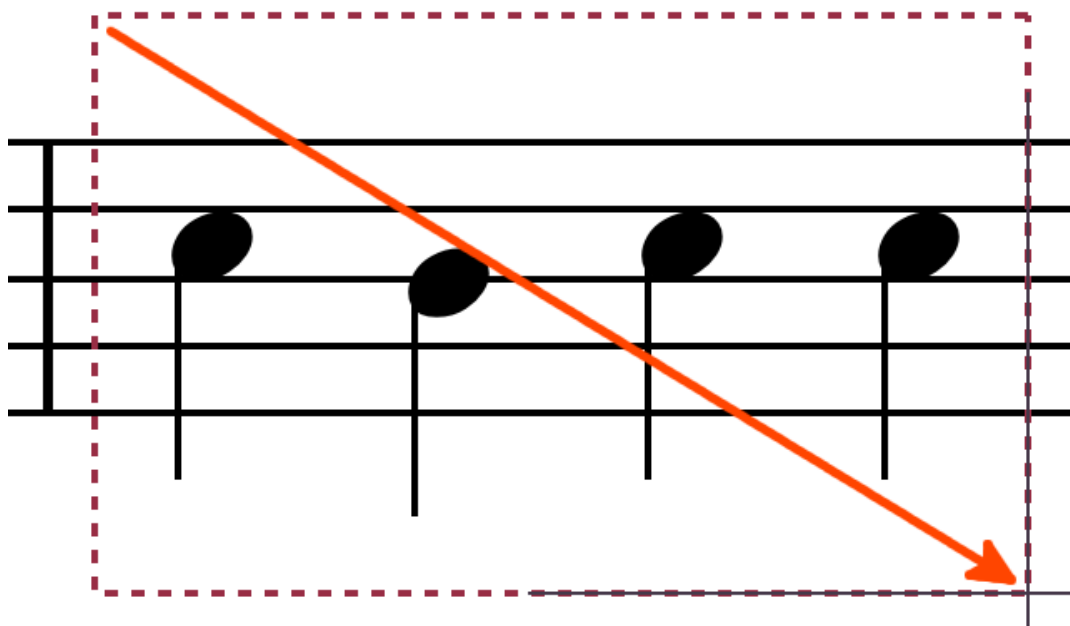
選択して削除する方法

1. 音符入力モードのまま、記号をロングタップ（長押し）します。
2. 記号が緑色に光ったら、指（ペン）を離します。
3. 編集メニューの「削除」をタップします。



複数記号をまとめて削除する（1）

1. 音符入力モードのまま、記号以外の場所でロングタップ（長押し）します。
2. 十字の線が表示されます。
3. そのまま（画面にタッチしたまま）指（ペン）を動かすと点線の枠が表示されますので、削除したい複数の記号を囲むようにドラッグし、指（ペン）を画面から離します。

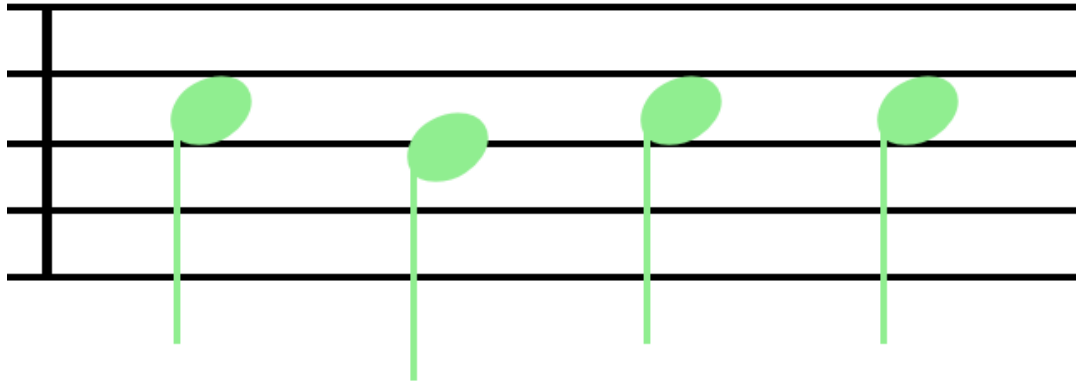


4. 記号が緑色に光り、編集メニューが表示されます。
5. 編集メニューの「削除」をタップします。

切り取り

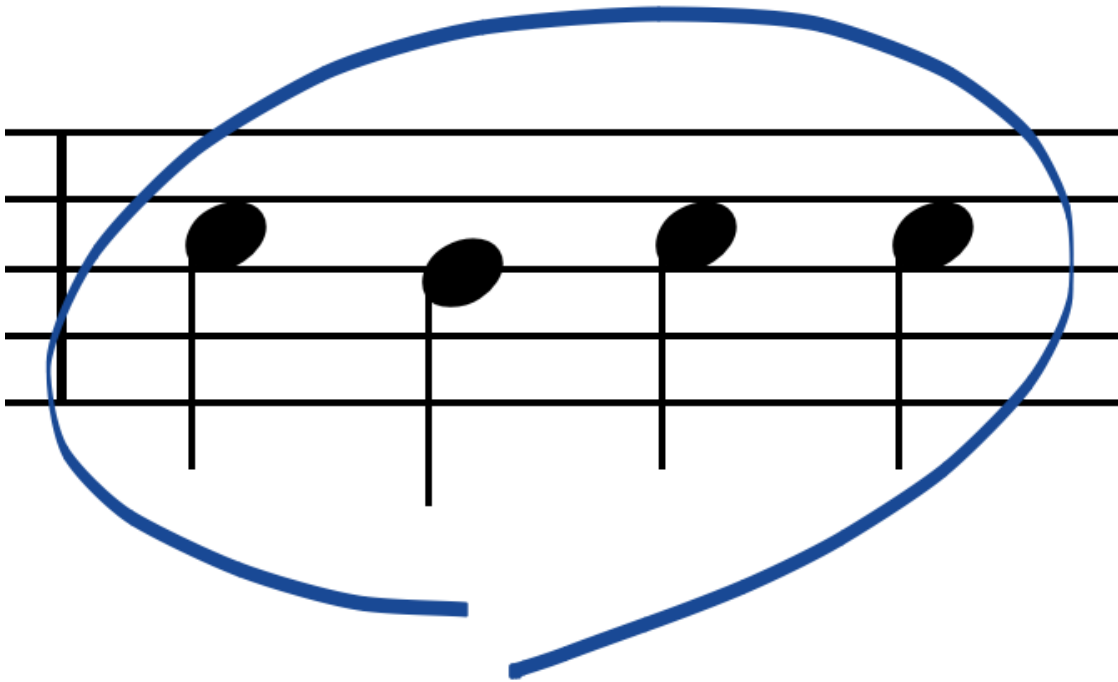
コピー

削除



複数記号をまとめて削除する（2）

1. 音符入力モードで、削除したい複数の記号を枠で囲みます。



2. 記号が緑色に光り、編集メニューが表示されます。
3. 編集メニューの「削除」をタップします。

切り取り

コピー

削除



記号の選択を解除するには、楽譜の何も記号がないところをタップします。

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

楽譜を演奏する



サークルコントロールによる演奏

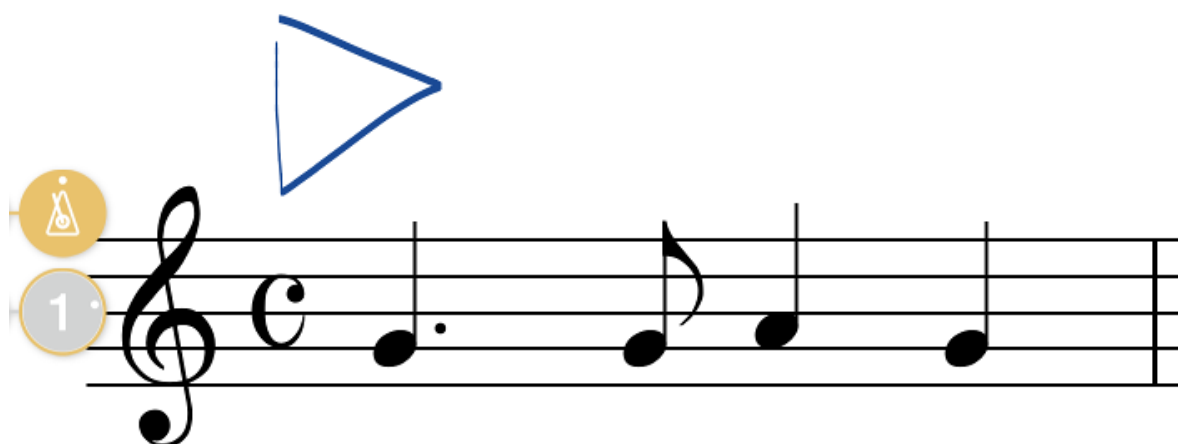
 ボタンをタップするとソングポイント  の位置から演奏します。

演奏を停止するには、 ボタンをタップします。ソングポイントは演奏停止した小節に残りますので、もう一度  ボタンをタップするとその小節から引き続き演奏します。

ソングポイントを曲の先頭に戻すには、 ボタンをタップします。楽譜も曲の先頭にスクロールします。


ジェスチャーによる演奏

演奏を開始したい小節の五線の上で右向きにジェスチャーで  または  を入力すると、その小節から演奏します。楽譜の指定した小節から演奏したい場合は、この方法を使います。




ジェスチャーは一筆で描きます。描く図形の大きさは、五線の高さより大きくしてください。また、誤って記号が選択されてしまわないよう、記号

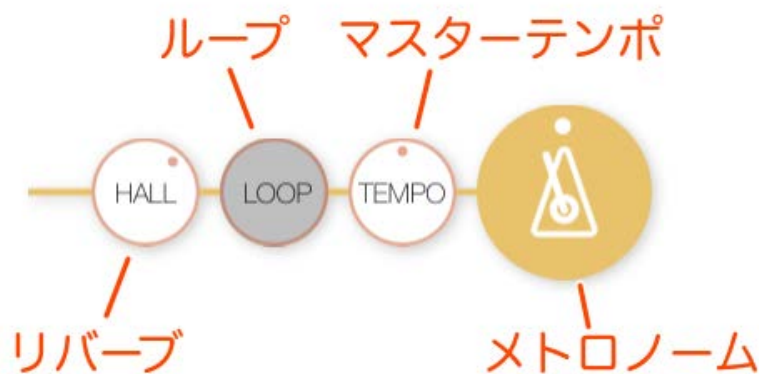
が何もない五線の上などで描くとよいでしょう。

同じ段落の小節が画面に収まっている場合は、通常の  ボタンと同じくその小節から曲の終わりまでを演奏しますが、楽譜が拡大表示されていて段落が画面に収まっていない場合は、その小節だけを演奏します。楽譜も自動スクロールしませんので、入力した内容を確認するのに便利です。

途中で演奏を止めるには、  ボタンをタップします。

マスターコントロールバー

マスターコントロールバー、パートコントロールバーは、ダイアル部分を右にドラッグして、引き出すことができます。また、不要な時は  ボタンをタップして、非表示にすることもできます。



リバーブ

タップすると、OFF/ROOM/STAGE/HALLを選択するメニューが表示されます。OFFはリバーブ（残響効果）をオフします。ROOM/STAGE/HALLはリバーブのタイプ（部屋の広さ）のパラメータです。ドラッグしてリバーブの深さを変更することもできます。右や上にドラッグすると残響効果が大きくなり、左や下にドラッグすると残響効果が小さくなります。タッチしている間、ダイアルは大きく表示されます。

ループ	タップしてループのオン/オフを切り替えることができます。ループがオンの場合、演奏範囲を繰り返して再生します。
マスターテンポ	ドラッグしてマスターテンポを変更します。右や上にドラッグするとテンポが速くなり、左や下にドラッグするとテンポが遅くなります。タッチしている間、ダイヤルは大きく表示されます。
メトロノーム	タップして演奏中のメトロノームのオン/オフを切り替えることができます。また、ドラッグしてメトロノームの音量を調整することもできます。右や上にドラッグすると音量が大きくなり、左や下にドラッグすると音量が小さくなります。タッチしている間、ダイヤルは大きく表示されます。

パートコントロールバー



パート名	パートコントロールバーの左上には、パート名が表示されます。パート名は、 パートのプロパティ で設定できます。
音色選択	パートコントロールバーの左下には、パートの音色が表示されています。この部分をタップすると音色のリストが表示されますので、別の音色に変えることができます。 音色 は、 アプリ内課金 で追加することもできます。

	また、 アプリの設定 の「出力音源」で「Core MIDI」を使用している場合は、音色の選択リストがバンクとプログラムチェンジの選択に変わります。
パンポット	ドラッグするとパンポットの値を変更できます。パンポットは音の定位（左右のスピーカーにどのように音量を振り分けるか）の設定です。右や上にドラッグすると左の音量が小さくなり、左や下にドラッグすると右の音量が小さくなります。タッチしている間、ダイヤルは大きく表示されます。
パート番号	右のダイヤルにはパート番号が表示されています。楽譜を拡大しているときに、どのパートの五線が判別するのに役立ちます。
パート音量	パート番号のダイヤルをタップすると、パートのミュート（消音）が設定できます。また、ドラッグするとパートの音量を設定することもできます。右や上にドラッグすると音量が大きくなり、左や下にドラッグすると音量が小さくなります。タッチしている間、ダイヤルは大きく表示されます。

音色一覧

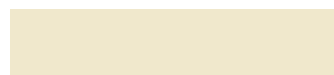
音色は、[アプリ内課金](#)で追加することができます。

ピアノ	フィンガースラップベース	ホルン
60'Sエレピ	フィンガーベース	ミュートトランペット
エレピ	フィンガーベースB	ユーフォニウム
エレピレジェンド	ブルースリック	リコーダー
グランドピアノ	フレットレスベース	エスニック

クラシックエレピ	ミュートエレクトリックギター	シタール
クラビネット	モダンジャズギター	ダルシマー
クリスタルエレピ	ギター/ベース2	ドブロ
シンセクラビ	12弦ギター	バグパイプ
スタジオグランドピアノ	EXPギター	パンフルート
トイピアノ	ウクレレ	ハーモニカ
ニューエイジエレピ	エレキギターB	フィドル
ニューエイジピアノ	カッティングギター	フィドルスライド
ニューエイジピアノB	カッティングギターB	三味線
ピアノオクターブ	クラビベース	大正琴
ホンキートンクピアノ	ジャズギターB	尺八
メロウグランドピアノ	スラップベース	琴
モダンエレクトリックピアノ	スラップベースB	琵琶
ロックピアノ	ディストーションギター	笙
オルガン/ドローバー	バラライカ	箏
60'Sオルガン	バンジョー	胡弓
BE 3	フォークギター	能管
BEナイス	ポリシンセベース	ベル/マレット
アコーディオン	マンドリン	ウッドブロック
エレクトロニックオルガン	ストリングス	カリンバ
オッドマン	ウォームストリングス	グロッケンシュピール
ケンバンハーモニカ	ウォームストリングスB	シロホン
ジャザー	オクターブストリングス	シンセマレット
ジャジーハーモニカ	クラシカルチェロ	スチールドラム
ジャズオルガン	クラシカルバイオリン	スチールドラムB
チャーチオルガン	コントラバス	チェレスタ
パーカッシブオルガン	シンセストリングス	チューブラベル
ハーブシコード	シンセストリングスB	ティンパニ
ブルースハーブ	シンセストリングスC	ハンドベル
フルオルガン	ストリングアンサンブル	ビブラフォン

フルパイプ	ストリングアンサンブルB	ベル
フレンチアコーディオン	ストリングスアンドブラス	ベルリラ
ボイスセレステ	ストリングススフォルツァンド	マリンバ
ワウハーモニカ	ストリングス&ベル	ミュージックボックス
シンセ/パッド	チェロ	ミュージックボックスB
ウォームパッド	バイオリン	ヴォイス/その他
オーケストラヒット	ハーブ	50'Sオー
クラシックシンセ	ハーブB	50'Sドゥー
クラシックシンセB	ビオラ	50'Sヘイ
ゴブリン	ビューティフルストリングス	50'Sラ
サインウェーブ	ピチカートストリングス	60'Sオーワー
スクエアパッド	ブラス/ウッドウィンド	60'Sバ
スクエアリード	アナログブラス	クワイヤー アー
スクエアリードB	アナログブラスB	シンセクワイヤー
ソウパッド	アナログブラスC	シンセボイス
ニューエイジパッド	アルトサククス	バスボーカル
ビッグソウ	イングリッシュホルン	ハミング
フルオーケストラ	オーボエ	ハローパッド
ポリシンセパッド	クラリネット	ポップ アー
メタリックパッド	ジャンプブラス	ポップ オー
ユーロヒット	シンセブラス	ポップ ワー
ギター/ベース1	シンセブラスB	メール オー
アコースティックベース	スーザフォン	女性ボーカル
ウッドベース	ソプラノサククス	男性ボーカル
エレキギター	チューバ	ドラムキット
エレクトリックベース	テナーサククス	アナログキット
オーバードライブギター	トランペット	エレクトリックキット
カッティングギターES	トロンボーン	ジャズキット
ジャズギター	バスクラリネット	スタンダードキット
シンセベース	バスーン	パワーキット

シンセベースB	バリトンサックス	ブラシキット
ダイナミックオーバードライブ	ピッコロ	効果音
ナイロンギター	ブラスセクション	効果音B
バラードギター	フリューゲルホルン	
ピックベース	フルート	




プリセット音色




課金音色

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

記号をスペーシングする

 ボタンをタップすると、小節内の音符・休符、その他の記号をバランスよく配置（スペーシング）します。小節の幅も自動的に調整されますので、簡単に楽譜を美しいレイアウトにすることができます。

小節を選択してから  ボタンをタップすることで、その小節だけをスペーシングすることもできます。この場合は、小節の幅は変わりません。ですから、小節の幅を変えずに全小節スペーシングしたい場合は、パート選択してからスペーシングを呼び出します。


参考：[小節選択](#)、[パート選択](#)


大譜表は、上下の五線にまたがる記号（連符、アルペジオなど）がない場合は、それぞれの五線で音符・休符をスペーシングします。

逆にこれらの記号がある場合は、大譜表の上下で同じタイミングになる音符・休符は横位置をそろえて入力するようにしないと、スペーシングの結果がおかしくなる場合があります。

参考：[大譜表で演奏がおかしい](#)

楽譜を移調する

 ボタンをタップして、楽譜全体を移調（トランスポーズ）することができます。

小節を選択してから  ボタンをタップすることで、選択された小節だけを移調することもできます。

参考：[小節選択](#)

2点記号の変形

タイやスラー、クレッシェンドのような始点と終点を持つ記号は、始点・終点をそれぞれドラッグして移動することができます。

1. 2点記号を選択します。選択すると緑色に光ると同時に、始点と終点に□が表示されます。
2. この□をドラッグして移動します。

段落をまたぐ2点記号は、この方法で入力することができます。

記号をコピーする

1. 「[記号・メモの選択](#)」に書かれたいずれかの方法で記号を選択します。
2. 記号を選択すると編集メニューが表示されますので、「コピー」をタップします。

切り取り

コピー

削除

3. 編集メニューの「貼り付け」をタップします。

貼り付け

4. 「楽譜にタッチして貼り付けます。」とメッセージが表示されますので、画面をタッチし、貼り付けたい場所で指（ペン）を画面から離します。記号が貼り付きます。

「コピー」ではなく「切り取り」や「削除」をタップすることで、記号を削除することができます。「切り取り」は削除した後に別の場所に貼り付

けることができますが、「削除」は貼り付けることはできません。
同じ記号を続けて貼り付けたい場合、楽譜の記号がない場所でロングタップ（長押し）すると、再び編集メニューの「貼り付け」が表示されます。
「貼り付け」をタップすることで、先程と同じ手順で記号を貼り付けることができます。

小節をコピーする

1. 「[小節・パートの選択と編集](#)」に書かれた方法で小節を選択します。
2. 小節を選択すると、記号を選択したときと同様、編集メニューが表示されますので、「コピー」をタップします。
3. 貼り付け先の小節を選択すると、編集メニューが表示されますので、「貼り付け」をタップします。

「コピー」ではなく「切り取り」や「削除」をタップすることで、小節に入力された記号を削除することができます。「切り取り」は削除した後に別の小節に貼り付けることができますが、「削除」は別の小節に貼り付けることはできません。（小節自体の削除については、以下の「小節の追加・削除」を参照してください。）

パートをコピーする

1. 「[小節・パートの選択と編集](#)」に書かれた方法でパートを選択します。
2. パートを選択すると、記号を選択したときと同様、編集メニューが表示されますので、「コピー」をタップします。
3. 貼り付け先のパートを選択すると、編集メニューが表示されますので、「貼り付け」をタップします。

「コピー」ではなく「切り取り」や「削除」をタップすることで、パートに入力された記号を削除することができます。「切り取り」は削除した後に別のパートに貼り付けることができますが、「削除」は別のパートに貼

り付けることはできません。（パート自体の削除については、以下の「パートの追加・削除」を参照してください。）

小節の追加・削除

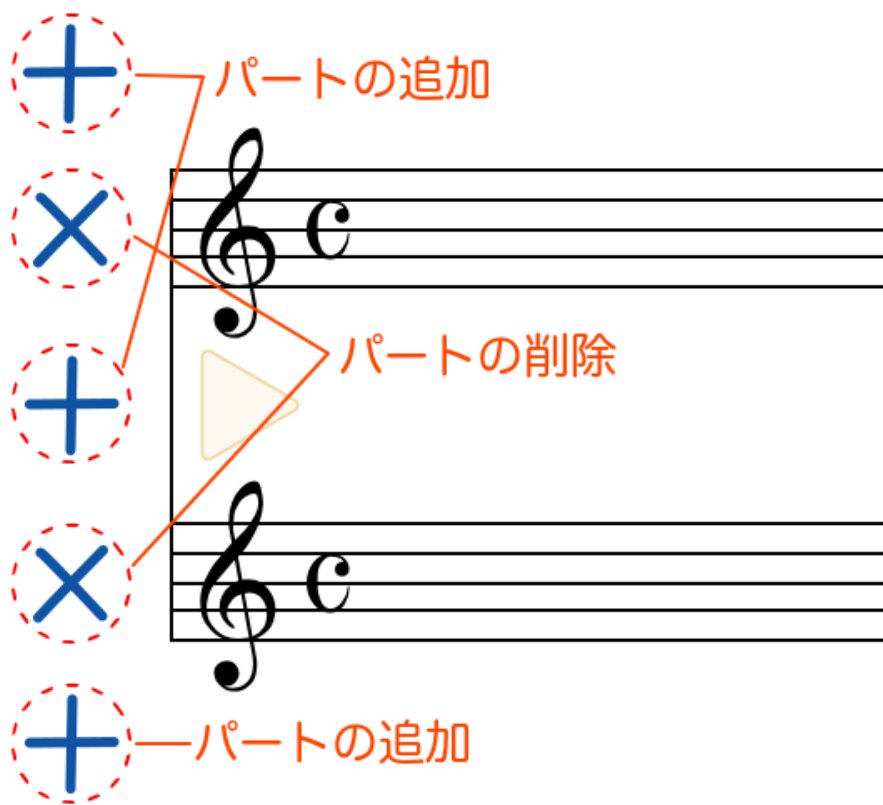
小節内の記号ではなく、小節自体を削除したい場合があります。また、ある場所に小節を挿入したい場合もあります。このようなとき、タッチノーションでは、小節線を削除・追加することで行います。

パートの追加・削除


パートの追加は、五線の左に「+」を入力することで行います。五線の中央より上に「+」を入れると、そのパートの上に、五線の中央より下に「+」を入れると、そのパートの下に新しいパートが追加されます。

大譜表のパートを追加するには、上記方法で単独譜表を追加してから、[パートのプロパティ](#)で大譜表に変更します。

パートの削除は、五線の左に「X」を入力することで行います。1パートしかない楽譜では、それ以上パートを削除することはできません。



記号のプロパティ

記号を選択してメニューから「プロパティ」を選択するか  ボタンをタップすると、記号のプロパティ画面を開くことができます。

記号のプロパティ画面を開くことができる記号は、音符入力モードで入力した発想標語か、ppp~fffの強弱記号のみです。

記号のプロパティ画面では、記号のフォント名、フォントサイズ、演奏方法を設定することができます。


フォント名	フォント名を選択します。選択を変更すると上のプレビュー表示が更新されます。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。値を変更すると上のプレビュー表示が更新されます。
	なし：演奏効果は付きません 強弱：指定されたベロシティ値で演奏します。 強弱の時間的変化：終点までの間に指定されたベロシティ値だけ変化させます。

演奏方法

速さ：1分間に演奏する4分音符の数で指定します。
速さの時間的变化：速さの変化率(%)とその変化を「直ちに」行うか「次第に」行うかを選択します。
曲頭の速さに戻す：直ちに曲の先頭の速さに戻します。
強弱と速さの時間的变化：強弱加算量（ベロシティ値）とテンポの変化率(%)を指定します。

楽譜上の記号の演奏方法のパラメータを変更すると、[初期プリセット](#)以外の自分で追加した発想標語については、同じ文字列のプリセットのパラメータも連動して変更されます。

パートのプロパティ

パートを選択してメニューから「プロパティ」を選択するか  ボタンをタップすると、パートのプロパティ画面を開くことができます。

パートのプロパティ画面では、パート名、キー、譜表の種類を設定することができます。

パート名	楽譜の先頭に表示するパート名を入力します。
キー	移調楽器のキーの設定です。例えば、トランペット(B♭)では-2、ホルン(F)では-7に設定します。移調楽器でなくても、楽譜と実音が異なる楽器、例えば、ギターやベースでは-12に設定します。
譜表	譜表の種類（単独譜/大譜表/ドラム譜）を選択します。単独譜の場合は、さらに音部記号も選択します。

楽譜の設定

記号やパートが選択されていない状態で  ボタンをタップすると、楽譜全般の設定を行うことができます。

設定できる項目は以下の通りです。

記譜フォント	<p>楽譜を手書き風のフォントで表示するかどうかを選択します。</p> <p>「手書き風」はアプリ内課金の項目です。ライブラリ画面のカートアイコンから「手書き風フォント」を購入いただくと選択できるようになります。</p> <p>※「手書き風」を選択してもコードネームのフォントは変化しません。コードネームのフォントは、コードネームの設定で行います。</p>
タイトル	<p>この楽譜のタイトルを入力します。</p> <p>タイトルは、楽譜1ページ目の上部に表示されます。また、ライブラリ画面の「楽譜リスト」にも表示されます。</p> <p>フォント名：タイトルのフォントを選択します。タイトルが日本語の場合は、HiraKakuまたはHiraMinで始まるフォントを選択してください。</p> <p>フォントサイズ：文字の大きさを設定してください。</p>
小節番号	<p>「表示しない」「段落の先頭」のどちらかを選択します。</p>
テンポ	<p>この楽譜の標準のテンポを設定します。</p> <p>入力可能なテンポは、8から500までです。</p>
コードネームの設定	<p>アプリ内課金の「コードネーム」を購入すると、選択できるようになります。</p> <p>コードネームのフォント、フォントサイズ、コードネー</p>

	ム自動書式のオプション設定を行います。
自動伴奏	<p>アプリ内課金の「コードネーム」を購入すると、選択できるようになります。</p> <p>コードネームに合わせた自動伴奏のスタイルを選択します。最初は「自動伴奏しない」になっていますが、これをタップすると101のスタイルからお好みの伴奏スタイルを選択して演奏させることができます。各伴奏スタイルには4つのバリエーションがあり、複縦線や繰り返しなどの区切りで自動的に次のバリエーションに変化します。</p> <p>自動伴奏の音量もここで設定できます。0から127の間で設定します。</p> <p>※自動伴奏はCore MIDIには出力されませんので、アプリの設定の「出力音源」を「Core MIDI」にしている場合は、これらの項目は設定できません。</p>
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。お使いのプリンタ、用紙に合わせて設定してください。

楽譜上のタイトルをロングタップ（長押し）し編集メニューの「プロパティ」をタップした場合も、この「楽譜の設定」が開きます。

参考：[記号のプロパティ](#)、[パートのプロパティ](#)

自動伴奏スタイル一覧

デフォルトスタイル	ディスコ1	ヘヴィビート
16thスイング	ディスコ2	ハードロック
ファンクシャッフル1	テクノ1	サーフロック
ファンクシャッフル2	テクノ2	リズム&ブルース
ヒップホップ1	テクノ3	8thスイング

ヒップホップ2	ヘヴィテクノ	モータウン1
ヒップホップ3	16thバラード	ファストシャッフル
ヒップホップ4	バラード1	モータウン2
16シャッフル1	バラード2	ゴスペルシャッフル
16シャッフル2	バラード3	ラグタイム
16シャッフル3	バラード4	カントリー&ウエスタン
16thファンク	バラード5	トリプレット/ワルツ
ファンキービート1	ライトライド2	トリプレットロック1
ファンキービート2	エレクトロポップ1	トリプレットロック2
ファンキービート3	エレクトロポップ2	ベンベ
ファンク1	16シャッフル4	ロックシャッフル
ファンク2	8thバラード	ブギー
ファンク3	スロージャム	トリプレット1
16th ストレート	スローロック	トリプレット2
ジャズファンク	R&Bバラード	レゲエ
16ビート1	50'sトリプレットバラード	ゴスペル
16ビート2	R&Bトリプレットバラード	ワルツ
16ビート3	8thストレート	ジャズ
16ビート4	8ビート1	H.H.スウィング
リムビート	8ビート2	ライドスウィング
ロールビート	スムーズビート	ファスト4ビート
ライトライド1	ポップ1	アフロキューバン
16thラテン	ポップ2	ジャズワルツ1
ラテンロック	ライドビート	ジャズワルツ2
スルドサンバ	スリップビート	5/4スウィング
ラテングループ	8thロック	ラテン
ライトサンバ	ジャズロック	H.H.ボサノバ
ソング	8ビート3	ライドボサノバ
サンバ	ロックビート1	ビギン

メレンゲ	ロックビート2	マンボ
16thダンス/テクノ	ロックビート3	チャチャ
ファンキービート4	ロックビート4	タンゴ
16ビート5	ブルースロック	ハバネラ


©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

メモの入力と編集


作成した楽譜にフリーハンドでメモを入力することができます。

入力したメモは、ページの固定的な位置として入力され、音符や小節の移動とは連動しませんので、完成した楽譜に注意点を書き込むなど、最後に入力するようにします。

メモを入力する

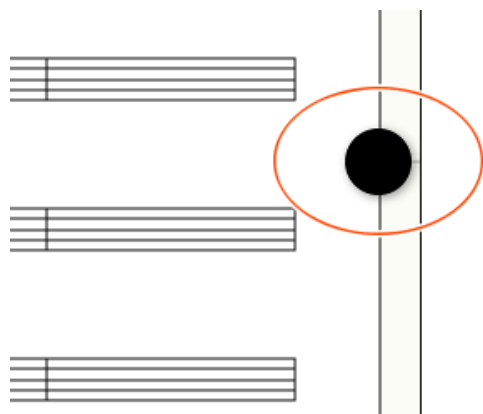
1. 楽譜編集画面になっていない場合は、 ボタンをタップして楽譜編集画面に切り替えます。

参考：[簡単な使い方、新しい楽譜を作る](#)

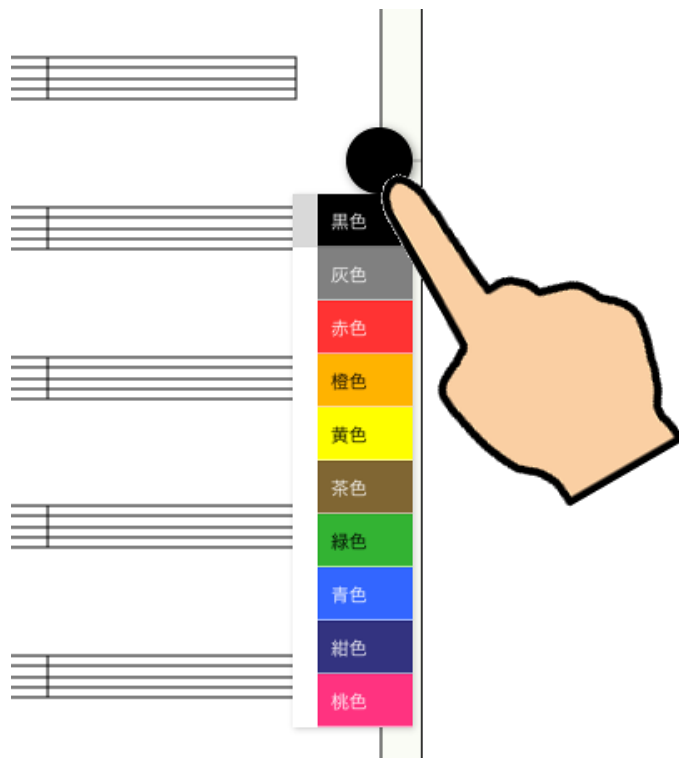
2. メモ入力モード  にします。

参考：[サークルコントロールの操作方法](#)

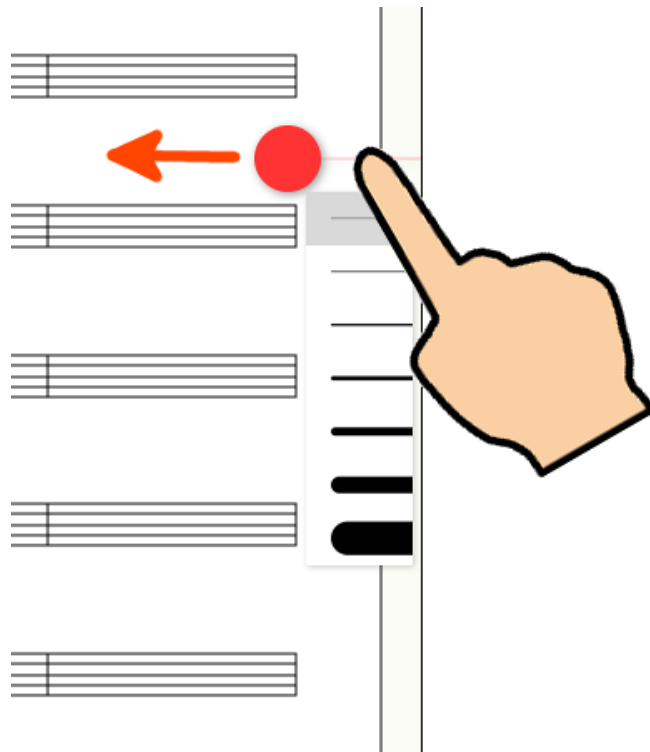
画面の右端にメモコントロールバーが表示されます。



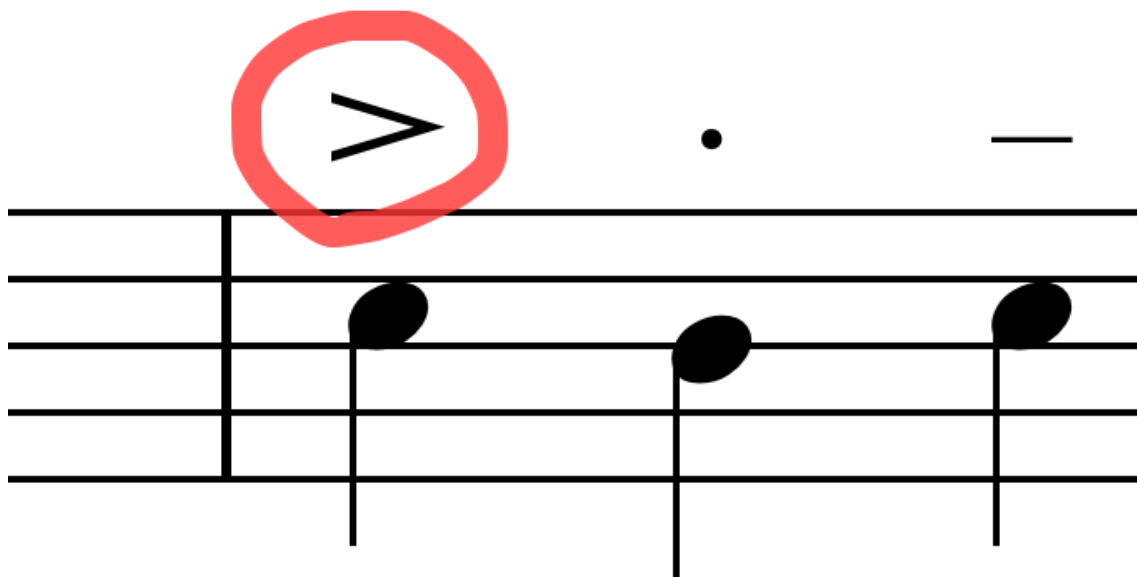
3. メモコントロールバーのペンの色選択のサークルをタップすると色のリストが表示されますので、ペンの色を選択します。



4. メモコントロールバーを左に引っ張り出し、線の部分をタップするとペン幅のリストが表示されますので、ペンの幅を選択します。

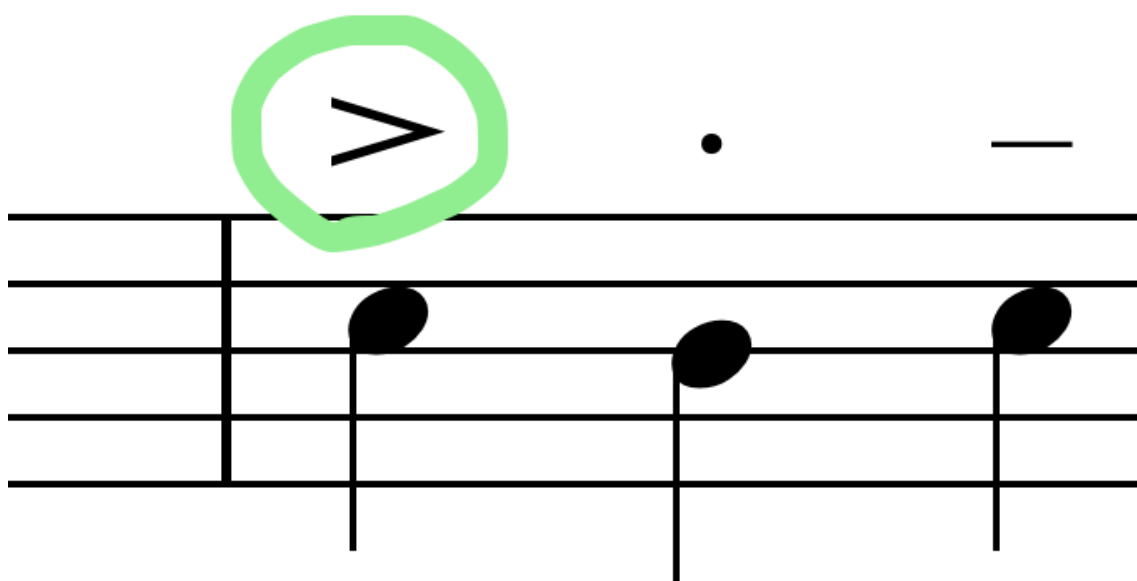
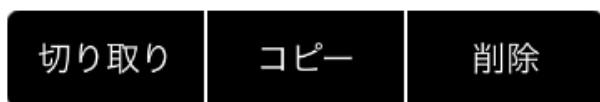


5. 楽譜にメモを書き込みます。



メモを削除する

入力したメモを削除するには、メモ入力モードのままで、メモを[直接ロングタップ（長押し）](#)するか、[複数記号をまとめて削除する（1）](#)の方法で選択し、編集メニューの「削除」をタップします。



メモを移動する

入力したメモを移動するには、メモ入力モードのまま、メモを[直接ロングタップ（長押し）](#)するか、[複数記号をまとめて削除する（1）](#)の方法で選択し、緑色になったメモをドラッグすることで移動できます。

メモをコピーする

入力したメモをコピーするには、メモ入力モードのまま、メモを[直接ロングタップ（長押し）](#)するか、[複数記号をまとめて削除する（1）](#)の方法で選択し、編集メニューの「コピー」をタップします。編集メニューの「貼り付け」をタップすると、「楽譜にタッチして貼り付けます。」とメッセージが表示されますので、画面をタッチし、貼り付けたい場所で指（ペン）を画面から離します。

楽譜を保存する・開く

楽譜を保存する


「タッチノテーション」では、編集集中の楽譜は自動的に保存されていますので、特に保存作業を行う必要はありません。

保存された楽譜の一覧は、ライブラリ画面の「楽譜リスト」に表示されています。

参考：[画面各部の名称と基本操作](#)、[自動保存](#)

楽譜を開く

「楽譜リスト」の楽譜を選択すると、右側に楽譜のプレビューが表示されます。


 ボタンをタップすれば、この楽譜を編集することができます。

参考：[画面各部の名称と基本操作](#)

楽譜リストの操作


「楽譜リスト」の上にあるボタンをタップして、以下のそれぞれの操作を行うことができます。

新しい楽譜の追加

 ボタンをタップすると、「楽譜リスト」に新しい楽譜を追加することができます。


参考：[新しい楽譜を作る](#)

楽譜の複製


 ボタンをタップすると、「楽譜リスト」の現在選択されている楽譜の複製を作ります。ある楽譜を元に別の楽譜を作りたい場合に、この機能を使うと便利です。

新しくできた楽譜には「のコピー」という名前が自動的に追加されます。

並べ替え



 ボタンをタップすると、並び替えに関する設定画面が開きます。並び替えに使う項目、昇順・降順を選択し「並び替え」ボタンをタップすると、「楽譜リスト」の楽譜がその条件で並び替えられます。

楽譜の削除

 ボタンをタップすると、削除を確認するメッセージが表示されます。「ライブラリから削除」をタップすると、その楽譜がライブラリから削除されます。（削除をキャンセルする場合は、アラートビューの外をタップします。）

テンプレート保存

[新しい楽譜を作る](#)際にテンプレートから楽譜の種類を選択しますが、よく作成するパート構成の楽譜がプリセットのテンプレート一覧にない場合、この機能を使って「ユーザーテンプレート」に追加しておくことができます。

1. テンプレートの元になる楽譜を「楽譜リスト」から選択します。
2.  ボタンをタップし、「ファイル形式」から「eスコア」を、「出力先」から「テンプレート」を選択し、「送信」ボタンをタップします。
3.  ボタンをタップして新しい楽譜を作ると、ユーザーテンプレートの一覧に、今追加した楽譜ファイルがテンプレートとして保存されています。

その他

楽譜ファイルをバックアップする方法については、[データのバックアップ](#)をご覧ください。


作成した楽譜を他のアプリで利用する方法、友達に送る方法については、[楽譜を他のアプリで利用する](#)をご覧ください。

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

楽譜を他のアプリで利用する

「タッチノーターション」で作成した楽譜は、友達と共有したり、[スコアメーカー](#)でさらに高度な楽譜編集をしたり、また、他社のアプリで開いて編集をすることもできます。

エクスポート

ライブラリ画面で  ボタンをタップすると、エクスポートの設定画面が表示されます。



ファイル形式

「ファイル形式」は、タッチノーターションが対応している出力可能なファイル形式です。eスコア、SMF、PDF、Music XMLの4つの形式に対応しています。

eスコア

KAWAI独自の電子楽譜のファイル形式です。この形式で出力すると、他のデバイスのタッチノーターションでそのまま開くことができます。また、[スコアメーカー](#)でさらに高度な楽譜編集を加えることもできます。ただし、スコアメーカーなど、タッチノーターション以外のアプリで編集を加えた場合、再度タッチノーターションで読み込むことはできなく

	なりますので、ご注意ください。
SMF	Standard MIDI Fileの略で、MIDIの標準的なフォーマットです。SMFの読み込みに対応している他のアプリで開くことができます。
PDF	アドビシステムズ社によって開発された電子文書のフォーマットです。閲覧・印刷するためのアプリケーションが様々なOSに対応して提供されていますので、楽譜を友達などに見てもらいたい場合には、最も手軽な方法です。
Music XML	Recordare社によって開発された楽譜表記のためのファイルフォーマットです。海外のアプリでは、この形式に対応しているものが数多くあります。楽譜としての情報を保持したまま他のアプリにデータを移行したい場合、最も有効なファイル形式です。

出力先

メール	「メール」を選択して「送信」ボタンをタップすると、楽譜を、選択したファイル形式でメールに添付して送ることができます。
他のアプリ	「他のアプリ」を選択して「開く」ボタンをタップすると、その形式を開くことができるアプリの一覧が表示されますので、開くアプリをタップして選択します。Dropboxへの保存も、この方法でできます。AirDropを使って近くのユーザーにファイルを送ることもできます。
テンプレート	テンプレート保存 を参照してください。
Airプリンター	楽譜を印刷する を参照してください。

メールに添付された楽譜を開く

メールで送られてきた「eスコア」は、以下の方法でタッチノーターションに取り込むことができます。

1. メール本文に表示されているタッチノーターションの書類アイコンをタップします。



2. 以下のように、このドキュメントを開くことができるアプリの一覧が表示されますので、「TouchNotationで開く」をタップします。

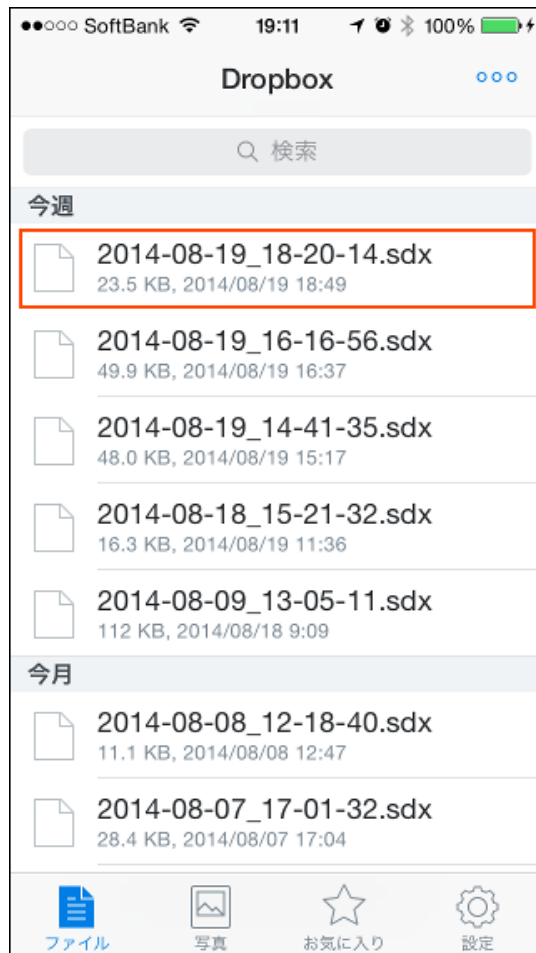



3. 自動的にタッチノーテーションが起動し、ライブラリ画面にこの楽譜が追加されます。

Dropboxなどのアプリに保存された楽譜を開く

Dropboxなどのクラウドストレージに保存された「eスコア」は、以下の方法でタッチノーテーションに取り込むことができます。

1. Dropboxなどのアプリで取り込みたいeスコア（sdxファイル）をタップします。



2. 以下のような画面が表示されますので、 ボタンをタップします。



3. このドキュメントを開くことができるアプリの一覧が表示されます。

「TouchNotation」が見つからない場合は、「別のアプリで開く...」をタップします。



4. 「TouchNotationで開く」をタップします。

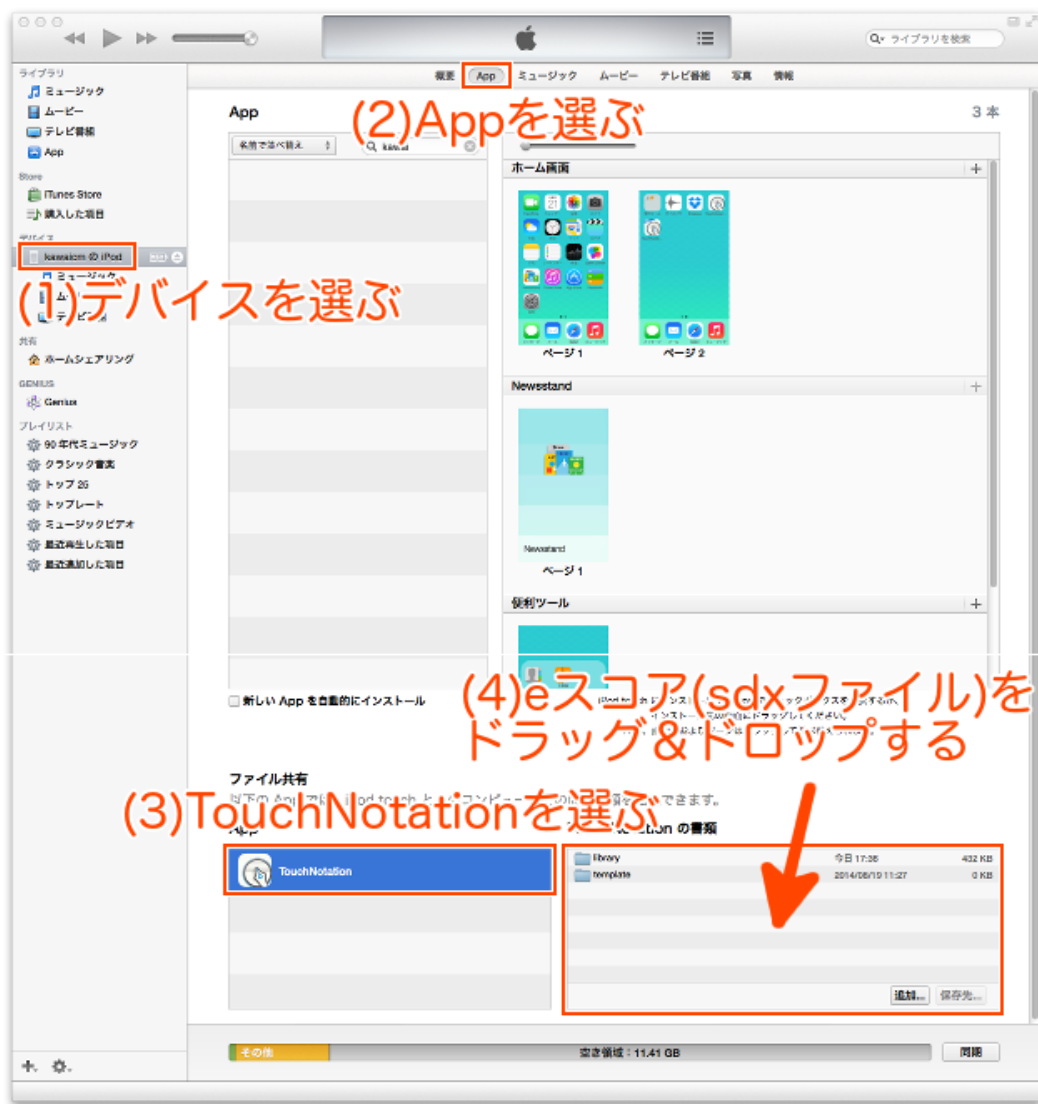


5. 自動的にタッチノーテーションが起動し、ライブラリ画面にこの楽譜が追加されます。

iTunesを経由して楽譜を開く

iTunesを経由して「eスコア」をタッチノーテーションに取り込むこともできます。ただし、[スコアメーカー](#)など、タッチノーテーション以外のアプリで編集を加えた場合、再度タッチノーテーションで読み込むことはできなくなりますので、ご注意ください。

1. まずiPadをパソコンに接続してiTunesを起動し、お使いのデバイス名をクリックします(1)。



- 画面上方の「App」をクリックし(2)、下の方のファイル共有のAppの一覧から「TouchNotation」を選びます(3)。
- 追加ボタンを押してeスコア (sdxファイル) を追加するか、このウィンドウにファイルをドラッグ&ドロップします(4)。
- タッチノーテーションを起動します。自動的に追加したファイルがライブラリ画面に追加されます。

スコアメーカーについて


スコアメーカーは、(株)河合楽器製作所が20年以上にわたって改良を積み重ねてきたWindows向けの楽譜認識作成ソフトウェアです。国産楽譜作成ソフトとしての使いやすさと安心感で、大変多くの方々にご愛用いただいております。

タッチノーテーションで作成した楽譜は、スコアメーカーでそのまま読み

込むことができます。スコアメーカーをご使用いただくことで、さらに高度な楽譜編集を行うことができます。

スコアメーカーについての詳しい情報は、このヘルプ画面の左上にある **サポート** ボタンをタップして表示されるKAWAIコンピュータミュージックのサイトの「製品情報」ページにてご覧いただけます。

楽譜を印刷する


1. 楽譜を印刷するには、ライブラリ画面で  ボタンをタップします。エクスポートの設定画面が表示されますので、「ファイル形式」から「PDF」を、「出力先」から「Airプリンター」を選択し、「印刷」ボタンをタップします。



2. プリンタオプション画面が表示されます。プリンタを選択し「プリント」をタップすると、楽譜が印刷できます。



アプリの設定

 ボタンをタップすると、タッチノートーションアプリの全般的な設定を行うことができます。設定可能な項目は、以下の通りです。

楽譜の編集	自動保存までの時間 (秒)	設定した時間何も操作がないと、自動的に現在編集中の楽譜を保存します。頻繁に保存され、動作が重いと感じられる場合は、数値を大きめに設定してください。保存はここで設定した時間が経過しなくても、演奏を開始したり、ライブラリ画面に戻るタイミングでも実行されます。5秒以上が設定できます。
	ダブルタップ拡大倍率 (%)	楽譜編集画面をダブルタップして拡大するときの倍率を設定します。100~2000%の間で設定できます。「現在の倍率」に今の楽譜編集画面の倍率が表示されていますので、この値を参考に設定してください。
	ドラッグ時のオフセット表示	オンにすると、楽譜編集画面で記号を移動するときドラッグ中の記号を少し上にずらして表示します。ドラッグ中の記号が指に隠れるのを防ぐことができます。
		オンにすると、手書きによる記号入力が4回連続して失敗したときに「? 手書き動画を見る」という

	手書き動画ヘルプの自動表示	ボタンが画面に表示されます。このボタンをタップすることで、 手書き入力できる記号の一覧（動画） を見ることができますが、このボタンを表示したくない場合は、この設定をオフにします。
演奏	基準ピッチ (Hz)	演奏の基準ピッチ（A4の周波数）を392～466Hzの間で設定できます。
	出力音源	演奏に使用する音源を選択します。通常は「内蔵シンセ」が選択されています。「Core MIDI」は アプリ内課金 の項目です。ライブラリ画面のカートアイコンから「Core MIDI 出力」を購入いただくと選択できるようになります。
ナビゲーションビュー	サイズ	ナビゲーションビューのサイズを小／中／大から選択できます。
リストガード	右利き用に配置する	右利きの方はオンに、左利きの方はオフに設定します。
	カスタマイズを許可する	サークルコントロールのカスタマイズを行いたい場合はオンに設定します。
	初期化する	「初期化する」をタップすると、サークルコントロールの配色、サイズ、位置を初期状態に戻すことができます。
	ランダム配色	「ランダム配色」をタップすると、サークルコントロールの配色をランダムに変更します。気に入

<p>サークルコントロール</p>		<p>った配色になるまで「ランダム配色」をタップしてください。</p>
	<p>配色を統一する</p>	<p>オンにすると、6つのサークルコントロールを同じ配色にします。</p>
	<p>サイズを統一する</p>	<p>オンにすると、6つのサークルコントロールを同じサイズにします。</p>
	<p>自動でレイアウトする</p>	<p>オンにすると、サークル1つを移動したときにその他のサークルの位置を自動的にレイアウトします。</p>
<p>コードネーム</p>	<p>自動書式</p>	<p>アプリ内課金の「コードネーム」を購入いただくと選択できるようになります。 特殊なコードネームを入力する場合は、自動書式をオフにします。</p>

データのバックアップ

「タッチノーション」を削除すると作成した楽譜や登録した発想標語などもすべて削除されてしまいます。「タッチノーション」を削除する前に、以下の手順にしたがってすべてのデータをバックアップしておくことで、「タッチノーション」を再インストール後にデータを復元することができます。

(1) iTunesがインストールされているPCにデバイスをUSB接続します。

(2) iTunesが起動したら、左側にある[デバイス]のデバイス名を選択し、さらに上部の[App]タブを選択します。

(3) 下部の[ファイル共有]の[App]リスト内の[TouchNotation]を選択します。

(4) PC内にバックアップ用のフォルダを作っておきます。

(5) [TouchNotationの書類]内のファイルをすべて選択し、(4)のフォルダへドロップして保存します。

※ドラッグ&ドロップで保存できない場合は、「保存先...」ボタンで保存します。

(6) ここで、「タッチノーション」を削除します。

(7) 新たに「タッチノーション」をインストールします。(★まだ起動させないでください。)

(8) PCのiTunesにおいて、(3)の要領で[TouchNotation]を選択します。


(9) [TouchNotationの書類]へ(4)で保存したすべてのファイルをドロップします。

※ドラッグ&ドロップで追加できない場合は、「追加...」ボタンで追加します。

(10) デバイスで「タッチノーション」を起動すれば、バックアップしたデータが復元されます。

アプリ内課金で機能を追加する


タッチノートーションには、現在、以下の4つのアプリ内課金による機能追加があります。

機能の追加は、ライブラリ画面のカートアイコン  をタップして行います。

Core MIDI 出力

「Core MIDI 出力」を購入すると、別売の「Lightning-USBカメラアダプタ」や「Apple iPadカメラコネクションキット」、その他のCore MIDIに対応したMIDIインターフェース機器を使って、カワイデジタルピアノやその他のMIDI楽器・音源で楽譜を演奏させることができますようになります。



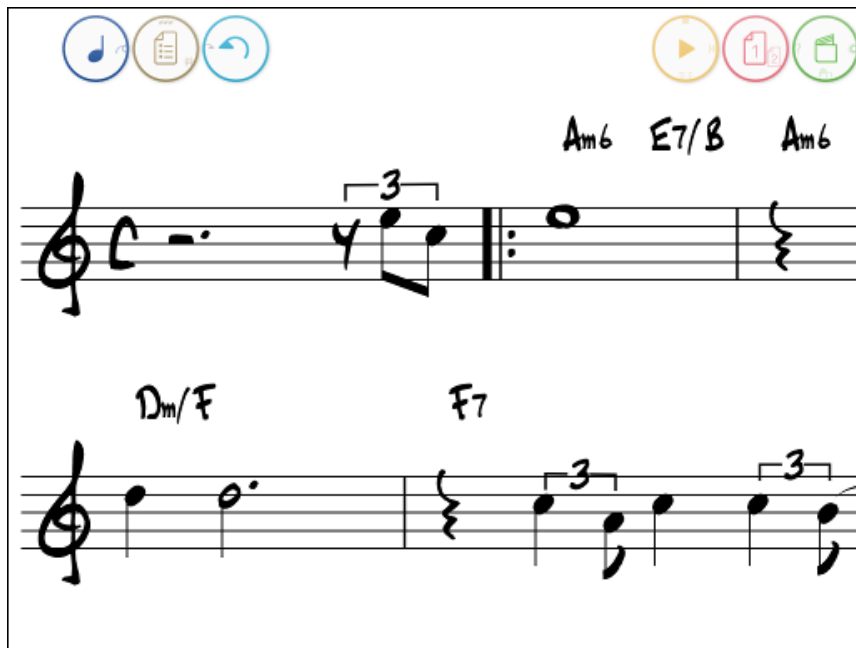
※USB端子でうまく接続できない場合は、Core MIDIに対応したインターフェース機器を使ってMIDI端子  に接続します。

「Core MIDI 出力」を購入すると[アプリの設定](#)の「出力音源」が選択できるようになりますので、出力するデバイスとGM1/GM2の区別を選択します。

自動伴奏の演奏データは、Core MIDIには出力されません。

手書き風フォント

「手書き風フォント」を購入すると、楽譜を手書き風のフォントで表示できるようになります。



標準フォントと手書き風フォントの切り替えは、[楽譜の設定](#)の「記譜フォント」で行います。

コードネームのフォントは、この課金項目を購入しなくても[コードネームの設定](#)で変更できます。

コードネーム

「コードネーム」を購入すると、楽譜にコードネームを入力できるようになります。また、コードネームに合わせた自動伴奏もお楽しみいただけます。コードネームの入力方法については[コードネームを入力する](#)を、自動伴奏の方法については、[楽譜の設定](#)の「自動伴奏」を参照してください。

自動伴奏の演奏データは、Core MIDIには出力されません。

音色セット

「音色セット」を購入すると、パートに設定する[音色](#)を最大で160音色追加することができます。音色セットは10のカテゴリーからなり、各カテゴリーには16音色が含まれています。すべての音色が含まれた「音色セット：フル」もあります。音色の一覧は、[パートコントロールバー](#)の音色選択で見ることができ、また

購入前でも音を試聴することができます。

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.

FAQ

ここではよくある質問と答えを紹介します。

楽譜の編集に関して

Q.手書き入力した記号が認識されません

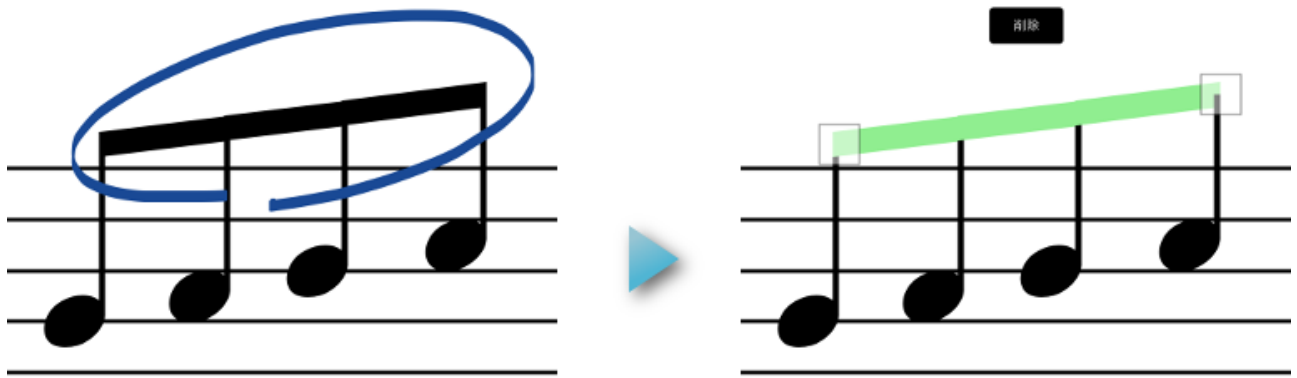
A.手書きで入力可能な記号は[手書き入力できる記号の一覧（動画）](#)を参照してください。動画で入力している様子をご覧くださいので、入力の仕方の参考にしてください。[画面を拡大](#)して入力することも、うまく入れるコツです。手書きによる記号入力が4回連続して失敗したときに「? 手書き動画を見る」というボタンが画面に表示されます。このボタンをタップすることでも、[手書き入力できる記号の一覧（動画）](#)を見ることができます。（「? 手書き動画を見る」ボタンが表示されない場合は、[アプリの設定](#)で「手書き動画ヘルプの自動表示」をオンにします。）

Q.記号が選択できません

A.音符は符頭をロングタップ（長押し）してください。その他の記号は記号の中央をロングタップすれば選択できますが、以下の2点記号は全体を囲んで選択するか、全体を囲んで選択したときに表示される□の位置でロングタップすると選択できます。

- ・連桁
- ・連符
- ・タイ
- ・スラー
- ・クレッシェンド（デクレッシェンド）
- ・トリル
- ・オッターヴァ
- ・繰り返し括弧

- ・ dim. cresc. decresc.などの始点と終点のある発想標語



参考：[記号・メモの選択](#)、[記号を移動する](#)、[記号を削除する](#)

Q.曲の先頭の調号が削除できません

A.曲の先頭の調号が削除できない（選択しても緑色に光らない）場合は、調号に0（ゼロ）を上書きすることで削除することができます。

演奏に関して

Q.ノイズが入ったり音が鳴らなくなったりします

A.内蔵シンセでの演奏音にノイズが入ったり、音が断片的に発音されない現象が発生した場合は、[リバーブをオフ](#)にするか、[パートをミュート](#)するなどして同時発音する音符の数を減らしてみてください。また、[アプリの設定](#)の「出力音源」が「Core MIDI」になっていると、内蔵シンセ（iPad/iPhone/iPod touchのデバイス）からは再生されません。

Q.大譜表で演奏がおかしい

A.大譜表の場合、上下の五線それぞれでは正しい楽譜であっても、上下で同じタイミングに演奏される音符の横位置が合っていないと、正しく演奏させることができません。このような場合は[スペーシング](#)機能をお使いください。 ボタ



ンをタップすると、上下それぞれの五線で音符を[スペーシング](#)します。



ただし、以下の楽譜のように大譜表の上下五線にまたがる記号（連桁、アルペジオなど）がある場合には、この[スペーシング](#)機能を使っても正しく演奏しない場合があります。このような場合には、下図のように、大譜表の上下で同じタイミングになる音符・休符は横位置をそろえて入力するようにしてください。



Q.弱起の曲で、メトロノームや自動伴奏が正しく演奏されない

A.[スペーシング](#)機能呼び出すと、正常に演奏するようになります。

Q.発想標語が演奏に反映しません

A.[初期プリセットの発想標語](#)には、あらかじめ演奏方法が設定されていますが、プリセットを選択することなく追加した発想標語には、演奏方法が設定されていません。入力した発想標語を選択し、プロパティを開いて「演奏方法」の項目を

設定してください。一度設定すると、[初期プリセット](#)以外の自分で追加した発想標語については、同じ文字列のプリセットのパラメータも連動して変更されますので、入力の度に設定する必要はありません。

参考：[発想標語を入力する、記号のプロパティ](#)

©2014 - 2017 KAWAI Musical Instruments Mfg. Co., Ltd.